

官報

號外

明治四十三年三月二十日

日曜日

印刷局

○第二十六回 帝國議會 衆議院議事速記錄第二十五號

明治四十三年三月十九日(土曜日)午後一時六分開議

議事日程 第二十四號 明治四十三年三月十九日

午後一時開議

明治四十一年度豫備金支出ノ件

明治四十一年度豫備金外ニ於テ豫算外支出ノ件

明治四十一年度特別會計豫備金支出ノ件

第一 明治四十一年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件 (承諾ヲ求ムル件) (委員長報告)

明治四十一年度清國事件第二豫備金支出ノ件

明治四十一年度韓國派遣部隊豫備費支出ノ件

第二 皇族ヨリ臣籍ニ入リタル者及婚嫁ニ因リ臣籍ヨリ出テ皇族ト爲リタル者ノ戸籍ニ關スル法律案 第一讀會 (政府提出) (族院送付)

第三 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉 明治四十年法律第五十二號中改正法律案 (政府提出) (族院送付)

第四 明治四十二年法律第三十六號中改正法律案 (政府提出) (族院送付)

第五 臺灣銀行法中改正法律案 (政府提出)

第六 狩獵法中改正法律案 (中村彌六君) 第一讀會ノ續 (委員長報告)

第七 普通選舉ニ關スル法律案 (日向輝武君) 第一讀會ノ續 (委員長報告)

第八 北海道釧路根室間鐵道速成ニ關スル建議案 (白石義郎君) 第一讀會ノ續 (委員長報告)

第九 漁港開闢ニ關スル建議案 (三浦賢一君) 第一讀會ノ續 (委員長報告)

第十 學制改革ニ關スル建議案 (松田正久君) 第一讀會ノ續 (委員長報告)

第十一 上越鐵道敷設ニ關スル建議案 (岸松太郎君) 第一讀會ノ續 (委員長報告)

第十二 史談會國庫補助ニ關スル建議案 (尾崎行雄君) 第一讀會ノ續 (委員長報告)

第十四 北韓鐵道改築及航海開始ニ關スル建議案 (三浦賢一君) (委員長報告)

第十五 鐵道建設ニ關スル建議案 (衆第七〇號) (長崎登出) (委員長報告)

第十六 滿洲銀行設立ニ關スル建議案 (元田肇君) (委員長報告)

第十七 臺灣拓殖銀行設立ニ關スル建議案 (樺山資之助君) (委員長報告)

第十八 鑛煙毒除害命令並被害救済ニ關スル建議案 (藤金吉君) (委員長報告)

第十九 水產講習所分場設置ニ關スル建議案 (吉田虎之出) (委員長報告)

○議長(長谷場純孝君) 是ヨリ諸般ノ報告ヲ致シマス

一 貴族院ハ本院ノ送付ニ係ル政府提出營業稅法中改正法律案明治四十一年法律第三十七號中改正法律案罹災救助基金法中改正法律案東京市區改正條例中改正法律案製鹽地整理ニ關スル法律案漁業法改正法律案銃砲火藥類取締法改正法律案ヲ可決シタル旨同院ヨリ通牒ヲ受領セリ

一 根本正君ヨリ高層氣象觀測ニ關スル質問主意書ヲ提出セラレタリ

一 關稅定率法改正法律案兩院協議會議長及副議長左ノ通り當選セラレタリ

議長 大岡 育造君 副議長 野田 卯太郎君

○高木益太郎君 議事ノ進行ニ付テ御注意ヲ致シタイコトガアリマス、高木益太郎君

言フ御許シテ願ヒタイ

○議長(長谷場純孝君) 會議ヲ開キマス、高木益太郎君

○高木益太郎君 我ハ議長ニ御注意ヲシテ戴キタイコトガアリマス、ツレハ民事訴訟法改正法律案、即チ各派ガ一致シテ提出シタルトコロノ案ガアリマス、是ハ委員會ヲ開

イタトコロガ、一人モ異議ガナクシテ將ニ決定セントスル際ニ、委員長ノ山岡君ガ、此案

ニ付テハ政友會ノ部會ヲ開ク必要ガアルカラシメ、ツレガタメニ最後ノ決定ハ待ツデ貰ヒ

タイ、斯ウ云フ御話デアリマシタ、委員ノ中ニハ本案ニ一人モ反對者ハ無イノデアリマ

ス、然ルニ追々會期ガ切迫スルニモ拘ラズ、又本員ヨリ山岡君ニ督促スルニ拘ラズ、此

會ヲ御開キガ無イト云フノハ何故アルカ、政友會ノ諸君ハ自分ノ都合ノ好イ案デア

ト、緊急動議ヲ起シテドン、決議ヲスル、彼ノ地租問題ニ付ハ八厘減止メ、一分減

○加瀬禧逸君　諸君、私ハ委員長ノ報告ニ對シテハ、不満足ノ意ヲ表シタイノデアリマス、唯此所ニ一言御斷リラシテ置キバナラヌコトハ、私ガ本案ニ付テ反對ヲ致シマスルノハ、他ノ議案ニ於キマスル委員長ノ報告ニ反對スルモノトハ少ク趣ヲ異ニ致シテ居ルノデアリマス、即チ委員長ガ唯今此壇上ニ於テ御報告ニナリマシタル事柄ニ付テハ、無論同意デアルノデアリマス、唯其結果ニ付テ不同意ヲ表スルノデアリマス、言換ヘマスレバ、唯

今委員長ノ御報告ニ相成リマシタル事項以外ニ、一ノ不法ナリトスル決定ヲ追加シタ
イト云フノデアリマス、ソレハ唯今委員長ノ御報告中ニ一言セラレマシタルコロノ國庫
剩餘金ノ支出ノコトデアリマス、即チ此國庫剩餘金ノ支出ニ對シテハ全部承諾ヲ與フ
ベカラズト云フ意見ヲ提スル者デアリマス、從來ノ慣例竝ニ警告等ノ例ヲ御引キニナリマ
シタ、併ナガラ從來ノ政府ノ經過ニ對シテハ、單ニ一片ノ警告ヲ止メテ置クト云フコ
トガ出來マセヌデ、此所ニ政府ニ對シテハ少シク氣ノ毒デハゴザイマスガ、私ハヤハリ憲
法、法律ノ本則ヲ履行シタイト云フ考ニ於テ此壇上ニ立チマシタル次第デアリマス（拍手
起ル）申上アルマデモゴザイマセヌガ、憲法ノ條章ヲ按ズマシテ、決シテ國庫剩餘金ノ
支出ヲ認容シテ居ルモノハナイノデアリマス、會計法ニ於キマシテモ亦國庫剩餘金ノ支
出ヲ許シテ居ラヌハ、同法ノ第二十條ノ規定ニ照シテ疑フ容レナイト思フノデアリマ
ス、試ミニ國庫剩餘金ノ支出ニ付キマシテ政府ニ所信ヲ質シ、政府ガ其支出ヲナスコ
ロノ根據タル條規如何ト問ヘバ、憲法第六十四條ノ一項アルト云フノ答デアリマス、
併ナガラ是ハ甚ダ當ラヌノデアリマシテ、他ノ規程ト相俟チマシレバ、此憲法第六十四
條ノ一項ガ國庫剩餘金ノ支出ヲ認容シタモノト解釋スルノ餘地ハナイノデアリマス、
憲法第六十四條ノ一項ニハ、豫算超過ノ支出、又ハ豫算外ニ支出ヲ爲シ得ルコトノ
規定ハ存在シテゴザイマスケレドモ、此規定ハ所謂豫備費ニ關スル規程アルト云フ
コトハ、後ノ憲法第六十九條ト對照シテ一點ノ疑フ容レナイト思フノデアリマス、即チ憲
法ノ第六十九條ニハ「避クヘカサル豫算ノ不足ヲ補フ爲ニ、又ハ豫算外ニ生シタル
必要ノ費用ニ充ツル爲ニ豫備費ヲ設クヘシ」ト云フ規程ガアルノデアリマス、ソレニ六十
四條ノ二項ハ「豫算ノ款項超過シ又ハ豫算外ニ生シタル支出アルトキハ後日帝國議
會ノ承諾ヲ求ムルヲ要ス」ト規程サレタルデアリマス、此規程ハ二ツ相俟テ、即チ豫備費
ニ關スル規程アル、六十九條ニ依テ豫備費ヲ設ケ、之ヲ支出シタル場合ニ於キマシテ
ハ、六十四條ノ二項ニ依テ帝國議會ノ承諾ヲ求ムルコトノ手續ヲ規程シタルデアリマ
ス、政府ガ現ニ此豫備金ノ支出ニ對シマシテ議會ノ承諾ヲ求メ來リマスルハ、即チ
憲法第六十四條ノ二項ト、憲法第六十九條ノ規程ヲ遵守シテノ手續アルト云フコトハ
言フマデモナイノデアリ、更ニ會計法ニ依リマシレバ、會計法ハ其第七條ニ於キマシテ豫
備金ヲ第一、第二ニ區別スルノ規程ガアリマス、第一ハ豫算超過ノ支出ニ充ツルモノ、第
二ハ豫算外ノ費用ニ充ツルモノトシテ規程ヲ置キマシテ、第八條ニ於テ此支出ヲナシタ場
合ニ於キマシテハ帝國議會ノ承諾ヲ求メロト云フコトガアルノデアリマス、是ガ即チ憲法ノ第
六十四條ノ二項ノ規程ヲ承テ掲ケラレタルコロノ條項アルト云フコトハ、私ガ殊
ニ此所ニ中スマデモアルト思フノデアリ、加之轉ジテ會計規則ヲ見マシレバ、會計規則モ
亦其第五款ニ於キマシテ、豫備金ノ支出ノ手續ニ關スル詳細ナル規程ヲ立テ、アルノデ
ゴザイマス、即チ第一豫備金ヲ支出スル場合ニ於キマシテハ、單ニ大藏大臣ノ承認ヲ經
レバ足ルヤウニナッテ居リマスガ、第二豫備金ニ至リマシテハ大藏大臣ノ承認ノミニ依
テ之ヲ支出スルコトハ出來ナイノデアリ、大藏大臣ニ金額、理由ヲ明示致シタル計算書ヲ
提出スル外ニ、大藏大臣ハ之ニ意見ヲ付シテ勅裁ヲ請フテ後ニ初メテ支出ヲ爲シ得ル
コトニナッテ居ルノデアリ、豫備金已ニ然リ、國庫剩餘金ノ支出ハ苟モスベカラザルコト
ハ、會計法、會計規則ニ於テモ亦之ヲ限定致シテ居ルノデアリマス、加之會計法ノ
第二十條ニ依リマシレバ、各年度ニ於テ歲計ニ剩餘アルトキハ其ノ翌年度ノ歲入ニ繰入ル
ベシトマデ明カナル規定ヲ置キマシテ、此ノ國庫剩餘金ニ付テハ翌年度ノ會計ニ繰入レロ
ト云フコトヲ命ズルノデアリ、此規程ノ半面ハ即チ國庫剩餘金ノ支出ヲ許サヌト云フコト
ヲ明定シテ居ルノデアリマス、此ノ如ク憲法ハ會計法ハ相俟テ各省大臣ノ意ノ儘ニ國

庫剩餘金ノ支出ヲ許シテハ居ラヌノデアリマス、退イテ國費ヲ支辨スルコロノ憲法ノ規
定ヲ舉ゲマシレバ、唯今申述ベマシタル第六十四條、第六十九條、及第七十條ノ外ニ
ハナイノデアリマス、即チ其一ハ豫算デアリマス、其二ハ豫備金デアリマス、其三ハ財政
上ノ緊急處分ノ規程デアリマス、此三ツ以外ニハ國費ノ支出ヲ許シテ居ル規程ハナイノデ
アリマス、而シテ豫算ニ付キマシテハ私ノ申上アルマデモナク、即チ帝國議會ノ協贊ヲ待
テ定マルトコロデアリマシテ、豫備金竝ニ緊急財政處分ヲ爲シタ場合ニ於テハ、後日帝
國議會ノ承認ヲ求ムルコト云フコトモ亦憲法ノ明定スルコロデアリマス、此ノ如ク帝國議
會ノ協贊、若ハ承諾ニ待タザレバ厘毛ノ微ト雖モ、國務大臣ノ之ヲ勝手ニスルコト云フコ
トハ許シテ居ラヌノデアリマス、斯ク見マシレバ私ハ法律規定ノ上ニ於テ、又憲法ノ條規
ノ上ニ於テ、國庫剩餘金ノ支出ハ不法アルト云フコトハ十分了解シ盡サレタルコトデア
ラウト思フノデアリマス、既ニ剩餘金ノ支出ガ憲法ニ背キ、法律ニ反シマスル以上ハ、私
ハ之ニ向テ暫クモ承諾ヲ與フベキモノデナカラウト思フノデアリマス、若シ憲法ニ背イ
テ、法律ニ悖ラヌデモ、是ハ警告位ニ止メテ、承諾ヲ與ヘテ置カウト云フヤウナコトナリマ
シタラバ、憲法ノ條章ヲ踐シテ、政府ガ帝國議會ニ向テ事後承諾ヲ要求スルコロ
ノ憲法ノ精神ト云フモノハ殆ド決了サレルコト、思フノデアリ、故ニ私ハ苟モ憲法ニ背
キ、法律ニ悖リマスル以上ハ、事情ノ如何ヲ諒察スルガ如キハ暫ク之ヲ避ケテ、憲法竝
ニ法律ノ議會ニ命ズルコロノ權能ニ依リマシテ、政府ニ對シテ其責ヲ鳴サルヲ得ナイ
ノデアリマス、憲法ハ政府ニ對シ、議會ニ向テ事後承諾ヲ求ムルコト云フコトヲ命ジ、議
會ハ又此憲法ノ旨ヲ體シテ審查ニ從事スルノデアリマス、事苟モ憲法ニ違反シ、法
律ニ悖ラヌラバ、金額小ナリト雖モ之ヲ是認スルコト云フコトハ到底出來ヌノデアリ、翻
政府ノ辯解ヲ聞キマスト、國運ノ進歩ハ國費ノ増加ヲ來スノデアリ、國費ノ増加ハ豫算
外ノ支出、若ハ豫算超過ノ使用ノ多キヲ致スモノデアリ、豫備金不足、豫算不足ノ故
ヲ以テ政務ニ須要ノ支出ヲ拒ンダラバ、全ク國家ノ政務ト云フモノハ阻止セラル、國
庫剩餘金ノ支出ハ已ムヲ得ザルニ出スト云フコトノ辯解ニ歸スルノデアリマス、私モ國運
ノ進歩ニ伴ヒマシテ國費ノ増加ヲ來ス以上ハ、豫算超過ノ費用竝ニ豫算外ノ支出ノ多
キヲ致スト云フコトハ無論爭ハヌノデアリマス、歲計一億圓ニ過ギザリ往時モ、歲計五
億圓以上ニ上ル今日モ、均シク同一ニセヨト論ズルヤウナコトハ致シマセヌ、昔豫備金
ノ額三百萬圓ナリシガ故ニ、今モ又此金額ヲ動かサズシテ、而シテ豫算外、若ハ豫
算超過ノ支出ニ充テヨトマデハ無理ナル註文ハ致サヌノデアリマス、政費ハ之ヲ要スル
ケ無論支出スルコトニ異論ハナイノデアリマス、政費ガ無イカラ國ノ政務ヲ抛ッテ置ク
ト云フヤウナ無責任ノ言語ヲ唱ヘルモノハ院中一人モナイノデアリ、政務ニ必要ナルモノ
アル限りハ其額幾許ニ達スルモ協贊ヲ與フルニ吝ナラザルハ諸君モ吾モ皆均シク同意
アルノデアリ、サレバコソ吾モ毎次ノ議會ニ於テ常ニ此豫備金ノ額ヲ増加スベキコトヲ
政府ニ向テ要求ヲ致シテ居ルノデアリマス、往年ノ三百萬圓ノ豫備金ヲ以テシテハ不
足ヲ告ゲララウカラ、其額今少シ上セテサウシテ憲法ニ適合シ、法律ニ適合スル
コロノ立派ナル政費ノ支出ノ跡ヲ示シテ貰ヒタイト云フコトヲ要求致シタ、アルノデアリ、
此要求ヲスルニ拘ハラズ、政府ハ之ヲ改ムルコトヲ致サヌノデアリマス、議員カラ進ンデ豫
備金ノ増額ヲ要求シ、之ニ依テ憲法、若ハ法律ニ違反スルコトノ無イヤウニ警告ヲスル
ニモ拘ハラズ、政府ハ決シテ之ヲ改メナイノデアリ、改メズシテ、而シテ必要ナル政費ニ云
ハ二口ヲ藉リテ、事情ニ訴ヘテ以テ議會ノ承諾ヲ得ヤウトサレルノデアリマス、事情時ニ之
ヲ諒スベキモノアリト雖モ、已ムヲ得ザル事情ニアラズシテ政府自ラ作レルニ等シキ事情ニ
對シテハ、サマデ斟酌スベキモノデハナイト思フノデアリマス、此ノ如ク政府自ラモ二百萬

圓ノ豫備金ヲ以テシテハ其不足ガアルト云フコトヲ知シテ居ル、議會モ亦其不足ナルコトヲ認メテ、サウシテ其金額ヲ増加ヲナスベキコトヲ要求スルニ對シテ、強テ之ヲ改メズ、警告ヲ受ケテ尙且國法ヲ重シズルノ態度ニ出デヌ以上ハ、私ハ是ニ於テ最早政府ニ向テ事情斟酌論ヲ出スベキ暇ハ無イデアリマス、是ハ少シク政府ニ取リテハ聽苦シイカモ知レマセヌガ、此點ハ實ハ政府ノ老熟デアリマセウ、或ハ又老獺ノ致ストコロトモ云フベキコトデアリマセウ、老熟ト申上ゲテモ、老獺ト申上ゲテモ、餘リ憲法政治ノ上ニ於テ面白カラザル處置デアルト思フデアリマス、不足ヲ知リナガラ其不足ヲ補フノ途ヲ取ラズ、却テ其不足ニ口ヲ藉リテ、サウシテ國庫剩餘金ノ支出ハ已ムヲ得ナイト云フニ至リマシテハ、一面ニ於テハ事情ニ訴ヘルノ素地ヲ作り、他面ニ於テハ憲法、法律ノ嚴格ナル規定ノ支配ノ外ニ立タントスル老獺ナル手段ト云ハレテモ辯解ノ辭ガナカラウト思フデアリマス、更ニ政府ノ辯解スルコトヲ聞キマスレバ、先例ト云フコトデアリマス、即チ政府ハ二十四年以來國庫剩餘金ノ支出ヲ爲シ來テ、其間承諾ヲ受ケザルコトモアルガ、承諾ヲ與ヘラレタ方ガ多イデアアル、議會ハ既ニ此剩餘金ノ支出ニ對シテ憲法違反、法律違反ニアラズト認承ラシテ居ルノデハアルイカト云フヤウナ口吻ヲ以テ辯解ヲセラレテ居ルノデアリマス、併ナガラ私ハ古キ當時ノ先例ハ今茲ニ記憶ヲ致シテ居リマセヌガ、私ガ此議會ニ列シマシテ以來、議會ノ先例ナルモノハ、決シテ國庫剩餘金ノ支出ヲ目シテ憲法違反、法律違反ニアラズト認承シタルモノハ一モ無イト思フデアリマス、即チ國庫剩餘金ノ支出ハ憲法ニ違反シ、法律ニ違反シテ居ルカラ、將來決シテ此種ノ支出ヲ爲スベカラズト警告シタルコトノ先例ハ今私ハ確ニ記憶ヲ致シテ居ルノデアアル、警告シタル先例ハ、即チ全部ノ承諾シタル先例ニアラズ、承諾ヲ能フベカラズト云フコトヨリハ少シク輕キニ似タリト雖モ、而モ議會ガ此剩餘金ノ支出ヲ見ルニ對スル觀念ニ至リマシテハ等シク憲法違反デアルト云フコトニ歸著致スデアリマス、昨日委員會ニ於キマシテ大津君ヨリシテ先例ナルモノヲ伺ヒマシタ、彼ノ廣島ニ於キマシテ臨時議會ノ開カル、以前ニ於キマシテハ、國庫剩餘金ノ支出ニ對シテハ違憲ナリトシテ承諾ヲ表シタルモノデアッタデアアル、然ルニ廣島ニ於ケル臨時議會ノ後ニ、出帥費ノ支辨ニ國庫剩餘金ヲ以テ致シタルコトガアツタ、是ガ國庫剩餘金ノ支出ニ對シテ承諾ヲ與ヘタル始メデアルト云フコトヲ言ハレマシタ、此出帥費ハ言フマデモゴザイマセヌ、當時ハ日清兩國干戈ヲ交ヘルノ際デアッタデアリマスルノデ、出帥費ノ支出ノ如キモノハ全ク國家非常ノ場合ニ應ズルトコロノモノデアゴザイマスルカラ、此重大ナル事情ヲ諒シマシテ、議會ノ暫ク此國庫剩餘金ノ支出ニ承諾ヲ與ヘタルデアリマセウ、然ルニ政府ハ忽チ此一事ヲ捉ヘ來テ前例ノ如クナシ、國庫剩餘金ノ支出一度此事情ニ依テ承諾ヲ與ヘラレタルガ故ニ、未來永劫ノ先例ナリトシテ、議會ガ承諾ヲ與フルガ當然ナルモノノ如キ態度ヲ以テ臨マルト云フガ如キハ、私ハ甚ダ解スベカラザルコト、思ヒマスガ、加之剩餘金ノ支出ヲ默過シテ警告位ニ止メ、暫ク承諾シテ置クナント云フコトハ、後ニ恐レベキ結果ヲ來スデアアルマイカト思ヒマス、現ニ先年ノ議會ニ於キマシテ問題トナリマシタル第三百三十銀行ノ如キハ其一例デアリマス、第三百三十銀行ノ救済ノタメニ、政府ハ多額ノ國庫剩餘金ヲ支出シタルコトガアリマス、當時議會ハ蓋タトシテ其非ヲ鳴ラシ、政府ニ向テ此支出ニ對スル承諾ヲ與ヘナカッタデアリマス、幸ヒニ其後ハ私立銀行救済ノ如キコトニ對シテ國庫剩餘金ノ支出ハ致シテハ居リマセヌ、居リマセヌケレドモガ、國庫剩餘金ノ支出ト云フモノハ年々歳々致サヌコトハナイデアリマス、私ガ委員會ニ於テ政府委員ヨリ受取リマシタル計算書ニ依リマスルモ、三十七年乃至四十年ニ互ルコトノ剩餘金ノ支出ト云フモノハ少ナキモ五百万圓以上、多キハ一千百万圓餘ニ達シテ居ルデアリマス

ル、三十一年ヨリ三十六年マデノ間ニ於キマシテハ少ナキハ七十餘萬圓、多キモ五百万圓ニ上ラナカッタデアリマス、爾來國庫剩餘金ノ支出ニ承諾ヲ與ヘテ以來ハ國ノ狀況モ違ッテ居リマセウ、國家ノ仕事モ多クナッテ居リマセウケレドモガ、其額ハ唯今申上グル如ク多キニ達シテ居ルデアリマス、勿論三十一年以來四十年ニ至ルマデノ間ニ於キマシテハ二回國庫剩餘金ノ支出ヲ爲サズシテ濟ンダキガアルデアリマス、即チ三十二年ト三十四年デアリマス、二回モ國庫剩餘金ノ支出ヲ爲サズシテ濟ンダコトガアリマス、其他ノ各年度ニ於キマシテハ、唯今申上グルヤウナ五百万圓以上、若ハ千百万圓以上ノ支出ヲ致シテ居ルコト云フコトハ、結局國庫剩餘金ナルモノ、支出ニ付テ政府ガ憲法ノ旨ヲ尊重セザルコトノ結果デアルト云フコトハ、此數字ノ上ニ於テ現ハレテ居ルデアリマス、而シテ此項提出サレタルコトノ豫備金外ノ承諾案ニ付キ如何ナル事項ニ對シテ國庫剩餘金ノ支出ヲ爲シテ居ルカト云フコトヲ點檢致シテ見マス、彼ノ廣島議會ノ當時ニ於ケル出帥費ニ對シテ承諾ヲ與ヘタヤウナモノハ大ニ事情ヲ異ニシテ居ルノデアアル、國家ノ重大ナル事件ニ對シテ出シタル云フニアラズシテ、些細ナルコトニマデ國庫剩餘金ノ支出ヲ濫用致シテ居ルノデアリマス、即チ豫算ノ組方サヘ宜ケレバ剩餘金ヲ豫備金ノ支出ニ待タヌデモ宜カリサウナモノマデモ、國庫剩餘金ノ支出ヲ致シテ居ルノデアリマス、豫知シ得ベカラザル事柄ニアラズシテ、豫知シ得ベキ事柄ニ對シテマデ、國庫剩餘金ノ支出ヲ致シテ居ルノデアリマス、嚴格ニ之ヲ申上ゲマシタラバ、第二豫備金ノ支出ヲ以テシテスラ尙且妥當ナラズトシテ排斥スベキ事柄ニ向テマデ國庫剩餘金ノ支出ヲ致シテ居ルノデアアル、之ハ畢竟國庫剩餘金ノ先年ノ議會ニ於テ、小川君ノ言ハレタルガ如ク第二豫備金ノ如ク心得テ居ル結果デアアルイカト思フデアリマス、然ラバ國庫剩餘金ノ支出ヲ許サレバ、政務ノ執行ガ出來ナクナルカト云フノニ、決シテサウデハナイト思フデアアル、現ニ唯今申述ベマシタル明治二十三年並ニ二十四年ニ於キマシテハ、國庫剩餘金ノ支出ヲ爲サズシテ濟ンダコトモアルデアリマス、是ハ無論當局者ガ豫算ノ編成ニ注意ヲ拂ッタル結果デアルト思フデアリマス、故ニ先ツ豫算ノ編成ニ對シテ十分ナル注意ヲ用井、而シテ他面ニ於テ議會ノ要求スルガ如ク豫備金ノ増額ヲ致シテ之ニ臨ミマシタラバ、決シテ國庫剩餘金ノ支出ニ待タヌデモ政勢ノ舉ラヌ氣遣ヒハナイデアリマス、然ルニ政府ハ何ガ故ニ此態度ニ出デヌデアルカ、豫算ノ編成ニ對シテモ屢々同僚諸君ヨリシテ政府ニ忠告ヲ加ヘタコトガアルデアアル、豫算ノ額ヲ増加セヨト要求シタルコトハ本年ニ始マッタノデハナイ、既ニ幾度カ此議ヲ提サレテ居ルデアリマシテ、清室太郎君ガ提出セラレタルコトノ會計法ノ改正案ニ於キマシテモ、亦此議論ヲ聞イテ居ルデアアル、此ノ如ク議會ハ唯徒ニ政府ヲ攻ムルニアラズ、政府ヲシ憲法、法律ノ旨ニ副フトコロノ政務ノ執行ヲサセシメタイト云フデアアル、斯クマデニ豫備金ノ額ヲ増加シテマデモ吾々ガ言フノ事柄ヲ訴ヘテ議會ニ臨メバ、議會デハ御叱リ位ヲ濟ム位ノ考ヲ以テ臨マル、ノデ、愈々其非ヲ鳴ラサルヲ得ナイデアリマス、此ノ如キ政府ニ向テ一警告ニ止メ置クガ如キハ吾々ノ同意スルコトノ出來ナイ點デアリマス、現ニ第二十四議會ノ會計法中改正法律案ノ委員會ニ於キマシテ、此國庫剩餘金ノ支出ヲ禁止スルコトノ明文ヲ置イタル改正案ヲ提出サレタル議員ノ御方ガアリマシタ、其時ニ於ケル政府ノ御答ハドウデアッタカト云フト、法律ニ規定シテ置カシテ居リナガラ、其實際ヲ見レバ依然トシテ國庫剩餘金ノ支出ヲ致シテ居ルデアアル、政府ノ橫著ナル茲ニ至ッテ驚カザラ得ナイデアアル、議會ノ決議ヲ重ンゼザル又甚シト云ハザラ得ナイデアアル、此ノ如

リタル者ノ戸籍ニ關スル法律案、政府提出貴族院送付、第一讀會ヲ開キ、議案ノ朗讀ハ省略致シマス——岡部司法大臣

第二 皇族ヨリ臣籍ニ入リタル者及婚嫁ニ因リ臣籍ヨリ出テ皇族ト爲リタル者ノ戸籍ニ關スル法律案 第一讀會

出テ皇族ト爲リタル者ノ戸籍ニ關スル法律案 第一讀會 府提出貴族院送付

皇族ヨリ臣籍ニ入リタル者及婚嫁ニ因リ臣籍ヨリ出テ皇族ト爲リタル者ノ戸籍ニ關スル法律案

第一條 華族ノ養子ト爲リタル皇族男子離縁ノ場合又ハ華族ニ嫁シタル皇族女子離縁ノ場合ニ於テ直系尊屬ノ臣籍ニ入リ創立シタル家アルトキハ其ノ家ニ入リ其ノ家ナキトキハ一家ヲ創立ス

第二條 前條、皇室親族令第三十二條若ハ第三十三條又ハ皇族身位令第三十四條ノ規定ニ依リ直系尊屬ノ家ニ入リ又ハ實家ニ復籍シタル者ハ十日

内ニ左ノ諸件ヲ具シ入籍又ハ復籍ノ原因ヲ證スル書面ヲ添ヘテ之ヲ届出ツヘシ

一 入籍又ハ復籍シタル者ノ父母及其ノ者ト父母トノ續柄

二 入籍又ハ復籍ノ原因及年月日

戸籍吏前項ノ届出ヲ受ケタル場合ニ於テ其ノ届出カ前條又ハ皇室親族令第三十二條若ハ第三十三條ノ規定ニ依ルモノナルトキハ身分登記簿中養子離縁ノ部又ハ離縁ノ部ニ皇族身位令第三十四條ノ規定ニ依ルモノナルトキハ身分登記簿中入籍、離縁及ヒ復籍拒絕ノ部ニ身分登記ヲ爲スヘシ

第三條 第一條、皇室親族令第三十三條又ハ皇族身位令第二十六條ノ規定ニ依リ一家ヲ創立シタル者ハ十日内ニ左ノ諸件ヲ具シ一家創立ノ原因ヲ證スル書面ヲ添ヘテ之ヲ届出ツヘシ

一 一家創立地

二 届出人ノ家ニ入ルヘキ者アルトキハ其ノ名、出生ノ年月日、職業及其ノ者ト届出人トノ續柄

三 届出人及其ノ家ニ入ルヘキ者ノ父母並其ノ者ト父母トノ續柄

四 一家創立ノ原因及年月日

戸籍吏前項ノ届出ヲ受ケタル場合ニ於テ其ノ届出カ第一條又ハ皇室親族令第三十三條ノ規定ニ依ルモノナルトキハ身分登記簿中入籍、離縁及ヒ復籍拒絕ノ部ニ皇族身位令第二十六條ノ規定ニ依ルモノナルトキハ身分登記簿中分家及ヒ廢絶家再興ノ部ニ身分登記ヲ爲スヘシ

第四條 養子縁組又ハ婚嫁ニ因リテ皇族ヨリ臣籍ニ入リタル者又ハ婚嫁ニ因リテ臣籍ヨリ出テ皇族ト爲リタル者アル場合ニ於テハ其ノ入リ又ハ出テタル家ノ戸主ハ十日内ニ其ノ氏名、出生ノ年月日、本籍地又ハ原籍地、父母及其ノ者ト父母トノ續柄並入籍又ハ離縁ノ原因及年月日ヲ具シテ之ヲ届出ツヘシ

戸籍吏前項ノ届出ヲ受ケタルトキハ身分登記簿中養子縁組ノ部又ハ婚姻ノ部ニ身分登記ヲ爲スヘシ

(司法大臣子爵岡部長職君登壇)

○司法大臣(子爵岡部長職君) 諸君、今般皇室親族令及皇族身位令ヲ制定サレマシタニ付キマシテ、情願ニ依リ臣籍ニ入ラレ、トコロノ皇族、又ハ臣籍ニ降サレタル皇

ク幾度カ警告ヲ與ヘテモ、決シテ政府ハ此警告ニ從テ改ムコトヲ致サヌデアル、憲法ニ違反シ、法律ニ違反シタルコトヲ非難ヲ受ケルコトノ屢ナル政府、言換ヘレバ憲法違反、法律違反ヲ常習スル政府ニ向テ、單ニ憲法違反ノ警告位ヲ以テ甘シズベキトキデハアルマイト思フノデアル、サレバコソ此默認ノ弊ト云フモノハ此件ニ止マラヌノデアリマス、他ノ法案並ニ諸案ニ於キマシテ、憲法違反ノ論議ノ聞ハサルコトモ屢アリマス、法律違反ヲ以テ責ムルトキモ屢、ゴザイマス、然ルニ政府ハ一モ其憲法違反、法律違反ト云フモノヲ矯正シタルコトハナイノデアリマス、是ハ即チ數年來警告位ニ止メテ承認ヲ與フルガ故デアル、若シ此場合ニ於ケル政府ノ意思ヲ露骨ニ表白致シマシタラバ、斯様ニ思フテ居ルデアラウト思フノデアル、議會ニ臨メバ時ニ憲法違反ノ論議モ聞ク、法律違反ノ攻撃モ受ルガ、議會ガ既ニ憲法違反ヲ認め、法律違反ヲ認めテ居ルデハナイカ、今ニ至ッテ違憲不法ヲ鳴ラサンヨリハ、先ヅ自ラ違憲不法ヲ是認シタル責ヲ引ケヨ位ニ言ハル、デアラウト思フノデアル、此ノ如キモノニ向テ、尙且一片ノ警告ヲ足レリトスル如キハ諸君ハ餘リニ情ニ脆過ギルデハアルマイト思フノデアル、(拍手起ル)一度ナラズ、二度ナラズ、幾度カ違憲、違法ヲ累ネ、刑法ノ言葉ヲ以テスレバ累犯トモ申スベキモノデアラウト思フ、此累犯ニ等シキ行動ヲ爲スモノニ對シテ、如何ニ情ニ脆イ裁判官ガアルト云フタトコロデ、尙且執行猶豫ヲ與ヘテ置クト云フモノハアルマイト思フ、恰モ之ニ彷彿タルトコロノ今ノ政府ニ向テ、單ニ警告位ヲ加ヘテ、是デ先ヅ甘シシテ置クト云フガ如キハ、自ラ輕ンズルノ甚シキモノト云ハネバナラス、私ハ唯徒ニ政府ニ向テ攻撃スルヲ快トスルモノデハゴザイマセヌ、事情ノ諒スベキモノハ勿論之ヲ諒承致シマスルガ、事情ニ馳セテ憲法、法律ノ規程ヲ無視スルニ忍ビヌノデアリマス、一片ノ警告デ幸ヒニ政府ノ過ヲ正スコトヲ得ルナラバ、豈好シデ此言ヲ爲スモノデハナイノデアリマス、前ニ申述ベマシタ如ク、政府從來ノ行動ニ照セバ、一片ノ警告位デ其實ヲ擧グルコトハ到底覺束ナイノデアアル、斯ル政府ニ向テ尙且警告位ニ止ムルガ如キハ、抑立法部ノ威信ヲ傷ケ、立法部ノ權限ヲ縮小スルモノヲ、努メテ避ケザルベカラザルトコロデアリマス、然ラバ則チ此場合委員長ノ報告相成リマシタル警告位ニ止メ置クコトハ御止メ下サイマシテ、憲法、法律ノ命ズル本則ヲ履行スルコトニ御贊同アラントラ希望致シマス、憲法擁護、法律保護ノタメニ此言論ヲ立ツルノデアリマス

(拍手起ル)

○伊藤大八君 本案ハ一括シテ委員長報告通り可決センコトヲ望ミマス

(政府ノ辯明ハナイノデスカ「司法大臣ガ居ル」ト呼フ者アリ)

○議長(長谷川純孝君) 日程第一ヲ採決致シマス、唯今加瀬君カラ一ノ動議ガ出テ居リマス、即チ之ヲ摘シテ申シマス、豫備金外ニ於テ豫算外支出ノ件ハ悉ク不承諾ト云フコトデゴザイマス、之ヲ尙分リ易ク申シマス、此第一日程中、一、二、三、四、五、六ト六項アル其中ノ第二ノ明治四十一年度豫備金外ニ於テ豫算外支出ノ件ト、第四ノ明治四十一年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件ト、不承諾ト云フ動議デアリマス、即チ之ニ付テ採決ヲ致シマス、加瀬君逸君ノ説ニ贊成ノ諸君ハ起立

起立者 少數

○議長(長谷川純孝君) 少數 他ハ總テ委員長ノ報告ニ御異議アリマセヌカ

(異議ナシ「ト呼フ者アリ」)

○議長(長谷川純孝君) 御異議ナシト認メマスカラ、即チ委員長ノ報告通り決定致シマス——日程第二、皇族ヨリ臣籍ニ入リタル者及婚嫁ニ因リ臣籍ヨリ出テ皇族ト爲

族ノ一家創立、及婚嫁、養子嫁組、離婚又ハ離婚ニ因リ臣籍ヲ出テ皇族トナリ、又ハ皇族ヨリ臣籍ニ入ラレタルコロノ方ノ身分ノ變更ニ付キマシテ登記ノ手續ヲナスノ必要ガアリマス、固ヨリ現今ニ於キマシテハ婚嫁ノ場合ニ於キマシテノ登記ニ付キマシテハ舊慣ニ依リマシテ取扱ニナツテ居リマス、之ニ關スル一定ノ法規ガ今日ノトコロニ於キマシテハ備テ居リマセヌ、加之皇室親族令、皇族身分令ノ規程ニ依リマシテ登記ヲ要シマス、ト云フノ事項ハ、婚嫁ノ場合ノミニハ止マリマセヌコトデアリマス、ノテ、戸籍吏ノ便宜ノ處分ニ是マデノウナコトデ任セマスルヤウナ譯ニモ參リマセヌ、因リマシテ一切ノ場合ニ於キマシテ其手續ヲ明カニ致スノ必要ヲ認メマス、本案ヲ提出致シマシタル次第デアリマス、宜シク御審査ノ上速ニ協賛アラント云フ……

○議長(長谷場純孝君) 日程第三、右議案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選舉ヲ議題ト致シマス

第三 右議案ノ審査ヲ付託スベキ特別委員ノ選舉

○伊藤大八君 本案ハ議長指名九名ノ委員ニ付託センコトヲ望ミマス

○議長(長谷場純孝君) 伊藤大八君ノ本案ハ議長指名九名ノ委員ニ付託スルト云フコトニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(長谷場純孝君) 御異議ハナイト認メマスカラ其通り決シマス、直ニ委員ヲ指名致シマス、板東勘五郎君、森茂生君、木下義之君、植場平君、岡田泰藏君、卜部喜太郎君、田川大吉郎君、山根正次君、松尾寅三君、唯今ハ指名致シマシタル委員諸君ハ第七委員室ニ於テ直ニ委員會ヲ開キ、委員長理事ヲ互選シ、引續キ會議ヲ開カレンコトヲ望ミマス

○武藤金吉君 議長

○議長(長谷場純孝君) 武藤君ハ爰ニ提出シタル此書面ニ付テノ發議デアリマスカ

○武藤金吉君 左様デアリマス

○議長(長谷場純孝君) 御諮リヲ致シマス、武藤金吉君カラ緊急事件ニ付テ質問ヲ此場合ニ於テタイト云フ爰ニ制規ノ贊成ヲ得テ質問書ヲ提出シテアリマス、即チ其題號ハ不敬流言ニ關スル質問趣意書

〔モウ一度〕ト呼フ者アリ

○議長(長谷場純孝君) 質問ハ火曜日ニ爲ス内規ニナツテ居リマス、併ナガラ緊急ノ事件ト認ムルトキハ此限リニアラズト云フコトノ御相談ニモナツテ居リマスカラ、一應御諮リヲ致シマス

〔異議ナシ異議ナシ〕無用ト呼フ者アリ

○議長(長谷場純孝君) 此場合ニ此質問ヲ許スヤ否ヤヲ御諮リヲ致シマス

〔無用々々〕異議ナシ異議ナシ 贊成々々 異議アリト呼フ者アリ

○議長(長谷場純孝君) 御異議ガアル以上ハ採決ヲ致シマス、此場合ニ其質問ノ趣意ヲ説明サセルト云フコトニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(長谷場純孝君) 多數

〔少數〕ト呼フ者アリ

○議長(長谷場純孝君) 武藤金吉君

○武藤金吉君 登壇

○武藤金吉君 不敬流言ニ關スル質問ノ趣意ヲ簡單ニ説明ヲ致シマス、三月十七

日東京株式取引所、竝ニ大阪株式取引所附近ニ於テ、異多クモ我皇室ニ對シテ不敬ニ涉ルノ風説ヲ流布致シマシテ、而シテ株式賣買ニ私利ヲ貪ムト云フ者ノアルコトヲ聞及ヒマス、之ニ對シテ吾々臣民ハ審ニ說クコト恐懼ノ至リニ堪ヘズ、吾々ハ説明ヲスルコトガ出來ヌデアリマス、之ニ對シテ政府如何ノ處置ヲ執リツ、アルカ、緊急問題トシテ質問ヲ致ス次第デアリマス(拍手スル者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 日程第四乃至第五ハ同一委員ニ付託セラレタル議案ナルニ依リ、併セテ委員長ヨリ報告ヲ致サセマス、委員長小川平吉君 理事高木益太郎君

第四 明治四十年法律第五十二號中改正法律案(政府提出貴族院送付)

第一讀會ノ續(委員長報告)

第五 明治四十二年法律第三十六號中改正法律案(政府提出貴族院送付)

第一讀會ノ續(委員長報告)

〔高木益太郎君登壇〕

○高木益太郎君 第一明治四十年法律第五十二號ノ改正法律案ニ付キマシテハ指定ノ委員ハ即日委員會ヲ開イテ、倉富政府委員カラ詳細ニ提案ノ趣意ヲ聞キマシタ、此法律案ハ協賛ヲ與フベキモノデアルト全會一致ヲ以テ可決ヲ致シマシタ、即チ統監府裁判所設置ノ結果、從來ノ法務院ガ統監府裁判所ニナリ、其結果ドウシテモ此改正ノ必要ガアルノト、ツレカラ又甲ノ司法機關ト、乙ノ司法機關トノ關係ハ法律ニ明カナケレバ共助ヲスルコトハ許サナイデアリマスカラ、是ガ聯絡ノ法律ヲ作ル必要ガアル、若シ此法律ヲ作ラヌト云フ、内地ニ居ル人ガ臺灣、韓國又ハ關東州ニ於ケル裁判所ニ於テ證人ナリ、鑑定人ナリニ喚出スノ必要ノ場合ニ、自分ノ居住地デアリ内地ノ裁判所ヲ審問ヲ受クルコトガ出來ナイデ、態々内地カラ臺灣ナリ、韓國ナリ、又ハ關東州ノ裁判所ニ出頭シナケレバナラヌデアリマス、是等ノコトハ迷惑ノ次第デアリマスカラ、官民ノ便利ヲ圖ルタメニ共助ノ法ヲ作リ、聯絡ノ法ヲ作ルノ必要ト見マシタ、次ニ明治四十二年法律第三十六號ノ改正案モ、是亦關聯シタル法案デアリマシタ、ヤハリ統監府裁判所設置ノ結果、改正ノ必要ガアルト認メマシタ、内地、臺灣、韓國及關東州ニ於ケル裁判所、又法院等ガ言渡シタ判決ノ執行ニ關シテ此規定ヲ設クルノ必要アリト認メマシテ、是亦全會一致ヲ以テ可決ヲ致シマシタ、宜シク御協賛アラント云フ望ミマス

○伊藤大八君 本案ハ一括シテ直ニ二讀會ヲ開キ、讀會ヲ省略シテ委員長ノ報告通り可決センコトヲ希望致シマス

〔異議ナシ〕又ハ「贊成」ト呼フ者アリ

○議長(長谷場純孝君) 伊藤大八君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(長谷場純孝君) 御異議ハナイト認メマスカラ、即チ日程第四、第五、一括シテ直ニ二讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ニ供シマス、即チ第四ハ明治四十年法律第五十二號中改正法律案、第五ハ明治四十二年法律第三十六號中改正法律案、二案トモ委員長ノ報告ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

明治四十年法律第五十二號中改正法律案

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

明治四十二年法律第三十六號中改正法律案

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(長谷場純孝君) 御異議ナイト認メマスカラ、二案共ニ委員長報告通り讀會

確定議
確定議

ヲ省略シテ可決致シマス——日程第六、臺灣銀行法中改正法律案第一讀會ノ續、委員長川原茂輔君

第六 臺灣銀行法中改正法律案(政府提 第一讀會ノ續(委員長報告))

(川原茂輔君登壇)

○川原茂輔君 唯今問題トナテ居リマス臺灣銀行法ノ改正法律案、是ハ至極簡單ナル法律案デアリマスケレドモ、其關係ズルところハ極メテ大ナル問題デアリマス。カ、委員會ニ於ケル經過ノ概要ヲ御報告致シマス。カ、暫時ノ時間ヲ御與ヘニナルコトヲ希望シマス。本案、即チ臺灣銀行ハ明治二十二年ニ成立致シマス。其時、日本ニ於テ臺灣ニ於ケル經濟事情ハ勿論、諸般ノ物ニ於テ膨脹シテ居リマス。ケレドモ、其政府ノ說明スルところニ二三此處ヲ御紹介致シマス。レバ、大分其膨脹ノ金額ト云フモノガ多ク、デモ、内地及外國ニ對スル輸出ノ合計ノ如キガ三十二年ニ於テ三千七百餘萬圓ノモノガ、四十二年ニ於テ八千四百餘萬圓ト云フ。大分金高ニナルノデアル、ソレカラ歲出入ニ於テ三千二百七十七萬六千二百三十餘萬圓ノ金額ニナリ、重要物產ノ額ノ如キモ三千六百五十餘萬圓ガ九千五百餘萬圓ノ多キニナリ、又銀行ノ貸付ノ如キモ三千二百萬圓バカリノモノガ二千三百萬圓ノ多キニナリ、總テ此ノ如キウナ膨脹ヲ致シテ居ルノデモ、ソレデ現在ノ臺灣ノ銀行ノ五百萬圓ノ資本ニ對シテ、五百萬圓ノ制限外ノ紙幣發行ト云フコトデハ、如何ニモ此大ナル臺灣ノ經濟ヲ料理スルコトガ出來ナイノデアル、ソコデ此五百萬圓ノ保證準備ヲ一千萬圓ニ増シテ賁ヒタイ、及第十三條ノ二項ノ理事監査役ハ選舉ノ六箇月前ヨリ引續キ本條規程ノ條數ヲ所有スル者ニ限ル(ト云フ)一項ヲ削リ、斯ウ云フガ改正法律ノ趣意デアリマス、ソコデ委員會ニ於テ段々調査ヲ致シマス。シタコロ、凡ソ臺灣ノ經濟ノ膨脹シタルト云フコトハ政府ノ說明ヲ俟タズモ明瞭ナルコトデアリマス、併ナガラ一般ノ銀行トシテ資本金ヲ増加セズ、正貨準備ヲ多クナサシテ唯發行準備ノ額ヲ膨脹セシマル結果ト云フモノハ、即チ其銀行ハ危險ナリト云フ斷定ヲ下サナケレバナラス、此點ニ向シテ段々審查致シマス。結果、本案ハ採用スルト云フコトニナリマス。ケレドモ、委員會トシテハ第一、今ノ四百萬圓ト云フ資本金一千萬圓ノ保證準備ヲ許スト云フコトハ甚ダ其結果ガ如何ナモノデアルカ、即チ多キニ失ハセナカト云フコトデ、將來ニ於テ五百萬圓ノ資本ヲ增加スルコトガ政府ノ意向トシテ如何デアル、斯ウ云フガ即チ第一ニ政府ノ言明ヲ要求シタル次第デアリマス、政府ニ於テハ今ノ五百萬圓ノ資本ヲ即チ增加スルト云フ意向ハ委員會ト同様デアル、併ナガラ其株金ノ拂込ノ如キハ是ハ經濟界ノ狀態ニ依リコトデアリマス。カ、其時機ヲ見計シテ即チ近キ中ニ増加スル、近キ將來ニ於テ増加スル、斯ウ云フガ第一ニ政府ノ言明セラレタコロデアリマス、ソレカラ第二ニ於テハ臺灣ニ於テハ此臺灣銀行ノ紙幣日本銀行ノ兌換券ト一ツ通用シテ居ルノデアル、其臺灣銀行ノ發行ノ紙幣内地ニ持ッテ歸レバ、内地デハ通用シナイ、ソコデ臺灣銀行ノ支店、即チ神戸ナリ、其他ニ於テ引換ヘルキニ於テハ一圓ニ付テ二錢ツ、ノ手數料ヲ取ラレ、是ガ甚ダ宜シクナイコトデアルト云フ點ニ付テ段々政府ニ質問ヲ致シマス。所ガ其一圓ニ付テ二錢ノ手數料ト云フモノハ、將來ハ取リマセヌ、ソレカラ紙幣ノ統一ト云フコトハ是ハ必要ナコトデアルカ、近キ將來ニ於テ紙幣ノ統一ヲ計ルト云フコトモ是亦政府ノ言明セラレタコロデアリマス、ソレカラ臺灣ニ於テハ一體ニ金利ガ高イ、昨年ノ十二月現在ニ於テ貸出ノ最高利率ハ即チ日歩三錢デアル、廉イトキガ二錢五厘デアル、割引ハ三錢デ、廉イトキガ一錢五厘、前ノハ貸付デアリマス、斯ウ云フ譯ア内

官報號外 明治四十二年三月二十日

衆議院議事速記第二十五號

臺灣銀行法中改正法律案 第一讀會ノ續 確定議 議事日程變更ノ緊急動議 四六三

(七)

地ト比較スレバ臺灣ノ金利ノ高イト云フノデ、ソコデ臺灣銀行ニ於テ資本金ヲ増加シ、此發行準備ノ額ヲ一千萬圓トナスト云フ場合ニハ、内地同様ニ金利ヲ低ウスルコトガ出來ルヤ否ヤ之ニ向テ政府ノ言明ヲ求メマシタコロ政府モ同様デアル、勿論是ハ金利ヲ引下ケルコトニ努メルノデアルト云フ言明ヲセラレタノデアリマス、ソレカラ此委員會ニ於テハ棚瀬君、其他ノ建議セラレタル臺灣ニ拓殖銀行設立ノ建議モ付託セラレテ居リマス。カ、此臺灣銀行ニ於テ臺灣ニ於ケル土地森林ヲ擔保トシテ、即チ拓殖事業ノ發展ノため、農工銀行ノ採行ヲ爲ス。長期ノ貸付ヲナスカ否ヤ、爲サナイト云フコトニ於テハ發行準備ノ五百萬圓ヲ一千萬圓ニナス必要ノ如何ニ關シ棚瀬君其他ノ提案ノ賛否如何ニ關スル問題デアリマス。カ、是亦政府ノ意向ヲ確メマシタコロガ、唯今委員會ノ希望通り將來ハ此希望ヲ充スルコトニ努メルノデアルト言明ヲ得タノデアリマス、以上四點ニ於テ政府ガ言明セラレマシタカラ、即チ本案ハ贊成スルコトニ決定ヲ致シ、其結果トシテ棚瀬君、其地ノ提議ニナッテ居リマスノハ提案者ノ中村君ハ之ヲ撤回ヲ致シ、即チ其建議案ハ否決スルコトニ決定ヲ致シマシタカラ此段御報告ヲ致シマス

○伊藤大八君 本案ハ直ニ二讀會ヲ開キ、讀會ヲ省略シテ委員長報告通り可決セラレンコトヲ望ミマス

○議長(長谷場純孝君) 伊藤大八君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

○議長(長谷場純孝君) 御異議ナシト認メマス。カラ讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ニ供シマス、委員長報告通り御異議アリマセヌカ

臺灣銀行法中改正法律案 確定議

○議長(長谷場純孝君) 御異議ナシト認メマス。カラ讀會ヲ省略シテ、本案ハ委員長報告通り可決致シマシタ

○伊藤大八君 此際議事日程變更ノ緊急動議ヲ提出致シマス、ソレハ明治四十二年度歲入歳出總豫算ノ追加、明治四十三年度歲入歳出總豫算追加、豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲナスヲ要スル件、此三案ヲ此際議事ニ付シタイト云フ緊急動議デアリマス

(贊成々々ノ聲起ル)
○議長(長谷場純孝君) 御異議ハアリマセヌカ
(異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)
○議長(長谷場純孝君) 御異議ナシト認メマス。カラ日程ヲ變更シ、此場合ニ於テ明治四十二年度歲入歳出總豫算追加案、及明治四十三年度歲入歳出總豫算追加案、尙豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件、此三案ヲ委員長カラ報告セラレマス——委員長鳩山和夫君

(第四號)明治四十二年度歲入歳出總豫算追加案
(第四號)明治四十三年度歲入歳出總豫算追加案
(追第四號)豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件
(鳩山和夫君登壇)

○鳩山和夫君 諸君、第四號、明治四十二年度歲入歳出總豫算追加、又同四十三年度歲入歳出總豫算追加、此二ツハ東京府及神奈川縣ニ於キマシテ牛疫ガ流行

號ノ案ヲ見マシテモ、卽チ憲法ノ六十二條ノ二項ニ依ツテ協賛ヲ求メルノデアル、追第

〔贊成々々〕ト呼フ者アリ

〔賛成々々〕ト呼フ者アリ

○議長(長谷場純孝君) 三案トモ、委員長ノ報告ニ御異議ハアリマセヌカ
〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕
○議長(長谷場純孝君) 御異議ナシト認メヌカ、三案トモニ委員長ノ報告通り決定致シマス、日程第七、狩獵法中改正法律案第一讀會ノ續——委員長中村彌六君

第七 狩獵法中改正法律案(中村彌六君 第一讀會ノ續(委員長報告))
外三名提出)

○中村彌六君 此報告ハ極メテ簡單デゴザイマスカラ、本席ヨリ御報告致シマス、此狩獵法ノ改正法律案ノ精神ハ、野鳥獸ヲ保護スルト同時ニ町村ノ收入ヲ圖ラウト云フ精神ニ外ナラヌデゴザイマスガ、之ニ依リマシテ委員會ヲ開クコト四回、審議ヲ重ネ、討論ヲ盡シテ結果、委員多數ノ意見ト致シマシテハ、我邦今日ノ狀態ニ於テハ未ダ之ヲ實施セラル、トコロノ程度ニ達シテ居ラス、歐羅巴諸國ノ先進國ニ於テハ立派ナル成績ヲ舉ゲテ居ルコトデアリマスケレドモ、其歴史モ異ニシテ居リマス、又狀態モ異ニシテ居リマス我邦ノ今日ニ於テ見レバ、果シテ是ガ鳥獸保護ノ目的ヲ達シ得ルヤ否ヤト云フコトノ疑ガアル、又之ニ依ッテ町村ノ收入ヲ圖ルト云フコトモ、是モ一種ノ疑問ニ屬スルヤウナ次第デアルト云フノガ、多數委員ノ意見デアリマシテ、尤モ現行ノ法律ノ不完全ナルコトハ何人モ之ヲ認メテ居ルコトデアルガ故ニ、成ルベク速ニ、成ルベク其時宜ニ適スルコトヲ法律ヲ完全ニ編成致シマシテ、議會ニ提出スルコトヲ望ムト云フコトヲ當局者ニ要求致シマス下ニ於テ、此案ハ否決致シタノデアリマス、左様御承知ヲ願ヒマス
○伊藤大八君 本案ハ委員長報告通り直ニ否決センコトヲ希望致シマス
〔大贊成ト呼フ者アリ〕

○議長(長谷場純孝君) 本案ハ二讀會ヲ開クベカラズト云フコトニ御異議ハゴザイマセヌカ
〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(長谷場純孝君) 御異議ナシト認メヌカ、二讀會ヲ開クベカラズト云フコトニ決シマス、日程第八、普通選舉ニ關スル法律案第一讀會ノ續——委員長日向輝武君

第八 普通選舉ニ關スル法律案(日向輝武 第一讀會ノ續(委員長報告))
君外十二名提出)
〔登壇々々ト呼フ者アリ〕
〔日向輝武君登壇〕
〔拍手起ル〕

○日向輝武君 諸君、本案ノ委員會ハ一名ノ反對者ヲ除ク外、殆ド滿場一致ヲ以テ本案ヲ可決致シマシタ、反對ノ理由ヲ簡單ニ述ベマス、國務大臣ハ現行ノ選舉法ヲ以テ國家ノ選良ヲ得ルニ適當ナル法律ナリトシ、毫モ是ガ改廢ノ必要ヲ認メナイト云フ理由ヲ以テ此案ニ反對ヲ致シタ政府委員ノ一人ハ本内務次官ノ意見ハ、普通選舉ハ根本ノカラ社會ノ秩序ヲ破壞スルモノトシテ之ニ反對シタノデアリマス、法制局長官タル一政府委員ノ意見ハ、我邦ノ人文ハ未ダ此制度ノ適用ニ堪エナイト云フ理由ヲ以テ之ニ反對シタノデアリマス、而シテ委員ノ中ノ一人渡邊君ハ、此問題ニ向ッテ反對ノ理由ト致シマシテ、帝國ノ人民ノ多數ハ選舉權ヲ要求シテ居ラヌデアリナカ、要求シテ居ラヌトコロノ者ニ政權ヲ與ヘルノハ有害デアル、毫モ利益ガ無イト云フ理由ヲ以

テ之ニ反對シタノデアリマス、其例證トシテ、現今選舉權ヲ有シテ居ルトコロノ選舉民中ニ於テ棄權スルモノ甚ダ少ナカラズト云フコトハ既ニ明カナルコトデアル、國民ガ選舉權ヲ要求シナイトコロノ是ハ證據デハナイカト、斯ウ云フノデアリマス、其他ニ反對ノ理由ト致シマシテハ、普通選舉ハ無智ノ多數ノ國民ニ政治ヲ權權セシムル機會ヲ與ヘルガ故ニ、之ニ反對スルト云フノガ其主モナル理由デアリマシタ、又本案ニ贊成スル委員諸君ノ意見議論ハ多岐ニ分レ、多クノ時間ヲ要シタノデアリマスガ、其中ノ主モナル簡條ヲ舉ゲマス、先ヅ第一ニハ——第一番ニハ此制度ヲ我邦ニ施行スルハ多數國民ノ幸福ト利益ヲ基礎トスル最モオトナシ穩健ナル主義ヲ國家ノ政治ニ現出セシメントスルモデアル、彼ノ破壞主義ニ對シ或ル一部ノ人ガ憂フルガ如キ、此制度ガ彼等破壞的勢力ニ向ッテ力ヲ添ヘルトコロノモノデアルト言フガ如キハ、實際ニ反スル杞憂ニ過ギナイモデアル、委員多數ガ之ヲ主張シ、此制度ヲ我邦ニ於テ今日實施セントスルトコロノ趣意ハ、要スルニ破壞黨ニ勢力ヲ添ヘンタメニアラズシテ、却テ其有害ナル影響ヲ豫メ防止セントスルデアル、國家政治ノ智德ノ平均ヲ向ニセシムルニアラズシテ、却テ其弊害ヲ釐革シ、之ヲ匡正シ、之ヲ廓清シ、而シテ憲政有終ノ美ヲ大成セントスルタメニ之ヲ主張スルデアルト云フコトヲ其理由ト致シタノデアル、即チ普通選舉ノ制度ハ憲法政治ノ基礎タル國民代表ノ本義デアッテ、代議政治ノ當然到達スベキ理想デアリマス、而シテ我國現今ノ人文ノ發達ハ此理想ヲ現出セシムル上ニ於テ何等資格ノ缺クルトコロノモノハ無イ、又今日ノ國會ガ行政ノ府ニ對シテ立法部本來ノ威力ヲ持タナイ無力ノ絶頂ニ達シテ居ル、而シテ此國會ガ無力ナルトコロノ隙間ヨリ有ラユル秕政暴虐ノ政治ガ行ハレテ居ルデアル、普通選舉ハ即チ現今ノ政治上ニ於ケル弊害ノ根本ニ向ッテ大改革ヲ施ストコロノ最善ナル方法デアルト云フ多數ノ意見デアリマス、尙進シテ選舉界今日ノ弊害ニ至リマシテハ、投票買賣ガ行ハレルト云フコトハ、勿論選舉界ニ於ケル道徳標準ノ低イガタメニ原因スルデアルケレドモ、其ノ一大原因ハ制度ノ罪ナノデアル、今日ノ選舉民ハ百六十七萬人デアリマシテ、代議士ヲ選出スルノデ——二百七十九人ノ代議士ヲ選出スルデアルカラ、一人ノ投票ハ約四千四百票ニ當テ居ル、選舉場裡ニ候補者ガ立ッテ勝敗ヲ決スル得票數ハ、恐クハ一千五百ヨリ二千ヲ出デザルベシト信ジマス、此ノ如キ少數デアリマスカラシテ、之ヲ買収スルニ於テハ或ハ五千圓、或ハ一萬圓ト云フガ如キ何人モ都合ノ出來ル金額ヲ以テ之ヲ買収スルコトガ出來ルデアル、道徳ノ標準ノ低イタメニ此ノ如キ弊害ガ起ルノハ勿論デアリマスガ、此低イトコロノ缺點ニ乗ジテ此犯罪ヲ公然行ハシムルト云フコトハ抑ハ制度ノ罪デアルト思フノデアル、委員多數ハ若シ今日普通選舉ヲ行ハタラバ百六十萬人ノ選舉民ハ少ナクモ一千万人ニ達スルデアラウ、其思慮ニ於テ、其分別ニ於テ、其德操ニ於テ、其智識ニ於テ、其見聞ニ於テ、優ニ獨立ノ男子トシテ一國ノ國政ニ參與シ得ルノ資格ヲ持ツトコロノ帝國ノ男子ハ一千万人ヲ下ラヌデアリマス、此時ニ當テ僅々五千圓ヤ一萬圓ノ金ヲ以テハ到底投票ヲ買収スルコト云フコトハ不可能デアル、絕對ニ是ハ不可能デアルデス、若シ強テ買収セントスレバ十萬二十萬ノ大金ヲ投シナケレバナライ、其時ニ當ッテ選舉場裡ニ爭フトコロノ武器ハ辯舌デアル、議論デアル、文章デアル、其人ノ品格デアル、經歷デアル、懷クトコロノ政見如何ニ依ルデアル、此ノ如キ選舉場裡カラ選出サレトコロノ選良ナルモノガ果シテ今日ノ選良ヨリ以下ニ下ルト云フコトガアリマセウカ、斷然是ガ無イト委員多數ハ認メタノデアル、斯ウ云フ理由ヲ以テ是等各種ノ利害ヲ能ク攷究シタ結果、多數ハ此案ヲ可決シ院議ニ於テ之ヲ通過スベキモノト決定シタノデアリマス、一言終リニ臨ンデ加ヘタキコトハ、私個人ノ意見トシテ利害ノ問題以外ニ國民ノ權利ト

云フコトハ我々が忘レテハナラナイと思フ、權利ノ名ハ實ニ我々が惜マナケレバナラナイ、即チ帝國憲法ハ純乎タル立憲代議制體ヲ認メテ居ルコトハ明カデアル、決シテ君主ノ獨裁ノ政治ヲ認メテ居ラヌコトハ明カデアル、或ル少數貴族ノ暴政ヲ認メテ居ラナイ、二三階級ノ少數、即チ寡ナリ頭ノ寡頭政治ヲ認メテ居ラナイ、所謂純乎タル立君代議政體、言換ヘレバ立憲君主政體ヲ認メテ居ルノデアル、即チ天地ノ公道ニ基キ萬機公論ニ決スルコトヲ維新改革ノ大精神ヨリシテ帝國憲法ハ生出テ居ルノデアル、其證據ハ過去四十年間ノ憲法ノ歴史、天皇ノ詔勅が昭乎トシテ日月ノ如クデアル、果シテ然ラバ日本國民タルモノハ相當ノ年齡ニ達シ、一身ヲ處理シ、思慮分別アルコトヲ者ハ公然立ッテ己ノ思フコトヲ國會ニ徹底シテ、應分ノ力ヲ盡シテ、以テ天壤無窮ノ皇室ヲ翼賛スルコト云フコトハ日本國民ノ權利デアル、憲法ハ明確ニ此權利ヲ日本國民ニ付與シテアルノデアル、薩長ノ政府が徳川幕府ヲ倒シテ天下ノ大權ヲ握ッタルトキノ心事ハ、即チ全國ノ四千何百万ノ人民ニ公平ニ政權ヲ付與スルコト云フ精神デアッタニ違ヒナイ、ツレガ一年經テ、二年經テ、或ハ十年ノ戰爭等ニ於テ段々増長シテ來テ、遂ニ今日ノ如キ階級政治ヲ以テ甘シナケレバナラヌヤウニナッテ居ルノデアル、即チ選舉法ノ如キ憲法ニ附帶シテ居ルコトヲ法律ハ、憲法ノ大精神ニ從ッテ其政權ヲ全國ノ各階級全體ニ分配シ、サウシテ公平ニ各階級ノ意思ヲシテ國會ニ徹底セシムルコト云フコトヲスルノガ當然デアリマス、然ルニ今日ノ如キ不當ナル不都合ナル狹隘ナルコトヲ選舉法ヲ以テ、全國民ノ人口ノ中僅ニ百分ノ三ニシカ選舉權ヲ與ヘテ居ラヌコト云フヤウナコトハ實ニ制度ノ大本ヲ誤ルモノデアルト云ハナラナイ、憲法ノ正義及歴史ハ明確、其間一點ノ疑ヲ許サナイノデアル、若シ全國ノ壯丁ノ男子ガ立ッテ此憲法ニ依ッテ神聖ナル權利ヲ要求シタル場合ニ於テ、縱令利害論ノ上ニ於テ多少ノ餘地ガアリマシテモ、神聖ナル權利ノ前ニ於テ何人ガ如何ナル理由ヲ以テスルモ決シテ之ニ異議ヲ挟ムコトハ出來ナイト信ズルノデアル、斯ル理由ヲ以テ委員會ハ一人ヲ除クノ外殆ド滿場一致ヲ以テ此案ヲ決定シタルデアリマスカラ、滿堂ノ諸君ニ於カレテモ、果斷決心トヲ以テ此時世ノ大ナル要求ニ對シテ相當ノ態度ヲ執ラレンコトヲ勸告致シマス

○議長(長谷場純孝君) 渡邊千冬君

(渡邊千冬君登壇)

○渡邊千冬君 諸君、私ハ唯今委員長カラ此案ヲ讀ムル委員會ニ於ケル唯一ナル反對者トシテ報告セラレテ居ル者デアリマス、委員會ニ於キマシテハ僅ニ定規ノ半數ニ充ツルダケノ出席者ガアリマシテ、誠ニ委員長ノ報告ノ如ク此案ニ反對ヲ致シタルハ私一人デアッタデアリマス、併ナガラ申スマデモナク、私ハ態々日向君ガ之ヲ茲ニ御報告ニナル程、移シテ以テ之ガ天下ノ輿論ヲ代表シテ居ルモノトハ思ハナイデアリマス、日向君ハ委員會ニ於テモ、亦此本會ニ於テモ非常ナルコトヲ雄辯ヲ以テ人ノ感情ニ訴ヘテ、サウシテ此案ヲ通過セシメント圖ラレテ居ルノデアリマス、併ナガラ此普通選舉ニ關スル問題ハ決シテ人ノ感情ニ訴ヘテ決スベキ問題デハナイ、是ハ冷カナル理性ノ判斷ニ依ッテ決シナケレバナラナイ重大ナル問題デアルノデアリマス、是ハ誠ニ日向君ノ如ク此案ニ依ッテ喜ブ人ハ世ノ中ニナイトハ私ハ言ハナイノデアアル、併ナガラ日向君ノ言ハル、ガ如ク此案ハ今日ノ日本ノ國情ニモ決シテ適シテ居ルモノデハナイ、又世界ニ各國ニ於テモ此普通

選舉ト云フモノハ必シモ最善ノモノトハ今日ニ於テハ認メラレテ居ラナイデアリマス、尙此問題ハ言葉ヲ換ヘテ言ヘバ是ハ主義ノ問題デアリマス、決シテ今日ノ國情ガドウダスウダト云フテ、選舉ノ事情ナドニ依ッテ決セラルベキヤウナ輕キ問題デハナイノデアリマス、私ハ故ニ先ヅ日向君ノ論據トセラル、トコロヲ反駁スルニ先ヅテ、此主義其モノニ付テ少シク述ベテ見ヤウト思フ、是ハ諸君モ御承知ノ如ク此普通選舉ト云フモノハ多クノ場合ニ民主主義ニ伴ッテ發達シテ來タモノデアリマス、民主主義ト云フモノハ我國ノ國體トハ全ク容レナイ主義デアルト云フコトヲ私ハ日向君ニ申シテ置キタイ、西洋各國ニ今日歴史ノ殘物トシテ此普通選舉ガ行ハレテ居ルガ故ニ、我國モ之ヲ採用シナケレバナラヌト云フヤウナ説ハ毫モ採ルニ足ラヌデアリマス、其國情ヲ異ニシテ居ルノミナラズ、又今日我國ノ總テノコトニ於ケル發達ト云フモノハ、最早歐米各國ノ制度ヲ模倣シテ、ツレデ満足スベキ時代デハナイノデアリマス、此選舉ト云フコトニ付テハ昔カライロノナル議ガアリマシテ、此普通選舉ニ付キマシテモ十八世紀以來、イロノ學者、又ハ政治家等ニ依ッテ研究サレタ問題デアリマス、之ヲ先ヅ根本ヨリ大別スルコト云フト、此普通選舉ト云フモノハ二ツノ異ナルコトヲ考ヨリ普通選舉ヲ可トスルノ説ト、又之ヲ否トスルノ説ガ起ッテ來タルデアアル、デツレハドウ云フコトデアアルカト云ハバ、一ハ彼ノ民主主義ヲ代表シテ居ルコロノ中ノ最も有力ナル「ルソー」ナドノ唱ヘマシタ、即チ人ニハ生レナガラシテ天然ノ權ガアルト云フ、此説ニ依ッテ代表サレテ居ルノデアリマス、佛蘭西ノ革命ガ因テ起ッテ來タ根本ノ思想デアリマス、此説ニ依レバ此世ノ中ニハ自然ト法律ト云フモノガアル、國家ノ權力ニ依ッテ制定シタ法律以外ニ、人ハ生レナガラシテ此法律ノ支配ヲ受ケテ居ル、又「ルソー」ナドハ自分ノ傳ニ己ハ佛蘭西ノ國ニ主權者ノ一人トシテ生レト云フコトガアル、是ハ生レナガラシテ民主權ト云フモノガ人ニハ存在シテ居テ、其權利ヲ持ッテ居ル一人ト云フコトヲ考デアリマシテ、斯ル考カラシテ此普通選舉ト云フモノガ起ッテ來タルデアアル、佛蘭西ノ革命ノ民權ノ宣言ト云フモノヲ見テモ、其中ニ總テ人ノ享有スベキ權利ヲ列舉シテアリマスガ、之ヲ見テモ如何ニ此普通選舉ト云フモノハ我國情ト容レナイ、危險ナル性質カラ起ッテ來タモノデアアルカト云フコトハ直ニ分ルノデアリマス、之ニ反ストコロノ説、即チ普通選舉ト云フモノヲ否トスルコトヲ説ト云フモノハ、今日多クノ學者ガ皆贊成シテ居ルコトコロノデアアル、又政治家モ之ヲ贊成シテ居ルコトコロノデアリマス、即チツレハドウ云フコトデアアルカト云ハバ、此人ノ權利ト云フモノハ決シテ生レナガラシテ得タモノデハナイ、是ハ國家統治權ノ作用ニ依ッテ人ノ權利ト云フモノハ決定タノデアルト云フ説デアアル、此説ト云フモノハ今日ハ誠ルコトハ出來ナイノデアアル、隨ッテ此選舉權ト云フコトコロノ一ノ公法上ノ權利ト云フモノハ是ハ國家ガ人ニ與ヘタモノデアアル、斯ウ云フノデアアル、今日世界何レノ國ニ於テモ行ハレテ居ルコトコロノ有力ナル唯一ノ眞理タル此學説ニ依ッテ判斷致シマスレバ、普通選舉ト云フ如キ無法ナルコトハ毫モ考ヘル値打ハナイノデアリマス、公權ト云フコトハクダノシク申スマデモナク、是ハ國家ガ個人ニ與ヘタコトコロノ公法上ノ權利デアリマス、此公法上ノ權利ト云フモノハ決シテ日向君ナドガ言ハレル如ク一個人ノ利益ヲ目的トシテ與ヘルモノデハナイ、是ハ公益ノためニナル場合ノ外ハ與ヘナイモノデアリマス、公衆ノためニナル場合ノ外ハ與ヘナイモノデアリマス、一三ノ或ル地方ノ人ノ利益デアルトカ、又一部分ノ人ノためニ國

家ハ公法上ノ權利ハ與ヘナイ、ソレアルカラシテ此國家ガ公權ヲ與ヘル場合ハ即チ之ヲ利用スル者ノタメニ——利用スル者ノ利益、及一般公衆ノタメニ利益アル場合ヲ國家ガ豫想シテ之ヲ與ヘルノデアル、然レニ日向君ハ感情ニ訴ヘテ唯今日選舉ヲ擴張シナイノハ國民ガ可哀サウデアルトカ、氣ノ毒デアルトカ言ハレルケレドモ、私ハ未ダ我國ノ普通選舉ヲ要求スルコロノ聲ハ此日向君、及日向君ノ說ニ賛成セラル、トコロノ二三ノ人以外ニ聞イタコトハナイ(「ノウ」)「ト呼フ者アリ」是ハ國民ノ輿論デハナイノデアリマス(「ノウ」)「ヒヤ」(「ト呼フ者アリ」)權利ト云フモノハ意思ト云フモノガ伴ハナケレバナラス、意思ヲ主張スルコトニ於テ茲ニ始メテ權利ヲ認メルデアリマス、私法上ノ權利ニ於テモ公法上ノ權利ニ於テモ、意思アル場合ニ之ヲ國家ガ私法ヲ以テ認ムレバ私權、公法ヲ以テ認ムル場合ガ之ヲ公法上ノ權利デアル、然ルニ此公權、即チ參政權——普通選舉、此權利ニ付テハ我國ノ國民ノ間ニ求ムルノ聲ガナイノデアリマス(「五千」)「皆求メテ居ル」ト呼フ者アリ唯或ル政治家ガ多數ノ無智ナル者ニ媚ヒルタメニ煽動スル、其結果トシテ之ヲ主張スル者ガアルカドウカハ知ラナイ、併ナガラ決シテハ國民ノ聲デハナイ、選舉權ト云フモノハ此ヤウナル性質ノモノデアリマシテ、是ハ冷カニ考ヘ、理性ノ判斷ニ任セタナラバ決シテ日向君ノヤウニ、唯日露ノ戰爭ニ於テ我國民ガ忠勇ナル兵隊デアッタカラ、之ニ選舉權ヲ與ヘナケレバナラヌト云フガ如キ漠然タル空論ニ依ッテ之ヲ決スルコトハ出來ナイノデアリマス、又少シク此問題ヲ實際ノ方面カラ之ヲ論ジテ見ダイト思フノデアリマス、先ヅ是ハ種々ノ點ニ於テイケナイ點ハアルヤウニ思フノデアリマスガ、第一我國ノ家族制度ト云フモノトハ容レナイノデアリマス、我國ノ各種ノ法制ト云フモノハ家族制度ト云フモノヲ根本ニシテ出來テ居ルデアリマスガ、若シ日向君ノ如ク年ガ二十五ニナレバ皆選舉權ヲ行フト云フコトニシタナラバ、一家ノ中父子相爭ヒ、兄弟相爭フト云フガ如キコトガ往々生ジテ、實ニ是ハ我國ノ家族制度ト云フモノヲ危クスルモノト私ハ思フノデアル、又其外是ハ私ガ先達委員會ニ於テモ最モ力ヲ盡シテ申シタノデアリマスガ、我國ニハマダ公權ヲ重シタルト云フ風ガ遺憾ナガラ十分ニ發達シテ居ラナイノデアリマス、即チ公權ト云フモノハ是ハ他ノ方面カラ認ムレバ公務デアル、國家ガ人ニ權利ヲ與ヘルノハ之ヲ用井ルコトヲ公益ノタメニ利ナリトスル場合ニ國家ガ與ヘルノデアアルカラシテ、是ハドウシテモ義務ノ觀念ガ伴ハナケレバナラス、然ルニ我國ニ於キマシテハ四十一年ノ選舉ニ於テモ非常ナル棄權者ノ數ガアルデアリマス、四十一年ノ調ベニ依レバ、有權者ノ總數ガ百五十八萬二千六百七十六人アル中ニ、投票セザル者ノ數ガ二十二萬六千六十六人アルデアリマス、即チ今日ノ選舉法ニ依ッテ選舉權ヲ持ツテ居ル者ノ中七分ノ一ト云フモノハ選舉ヲシナイノデアリマス、選舉ノ意思ガナイノデアリマス、決シテ是ハ國民ノ輿論ヲ此普通選舉ニ依ッテ代表サセルト云フガ如キコトハ、此一點ヲ見テモ誤リデアルト云フコトガ分ル、況ヤ日向君ハ此普通選舉ヲヤレバ或ハ選舉界ガ廓清セラル、トカ、或ハ國會ノ威力ガ之ニ依ッテ増スト云フ御話デアリマシタガ、何ニ故ニ教育ノ少ナイ下等ナル人ニ選舉權ヲ與ヘレバ、ヨリ多クノ教育ヲ受ケ、ヨリ多クノ德性ヲ具ヘテ居ルトコロノ人ニ選舉セシムルヨリハ政界ガ廓清セラル、カ、實ニ是モ分ラナイ議論デアラウト私ハ思フ、ソレデ今日ノ如ク此選舉權ヲ重シテ公權ヲ輕シタルノ風ガアリマスル場合ニ、之ヲ欲セザルトコロノ多

數ノ國民ニ選舉權ヲ與ヘマシタナラバ、遂ニハ此選舉權ヲ用井ナイト云フコトハ一村一鄉風ヲ爲シテ、遂ニ恐レベキトコロノ害毒ヲ來スノデアリマス、害毒ト云フノハ何デアアルカト云ヘバ公權ヲ輕シタルト云フ風デアリマス、既ニ今日ニ於テスラ我國民ハ公權ヲ重シゼザルノ憾アルトキニ於テ、尙公權ヲ輕シタルノ風ヲ助長セシムルガ如キ法案ヲ出スト云フコトハ私ハ根本ニ於テ考ガ誤ッテ居ルデアラウト思フ、(拍手起ル)私ハ過日ノ委員會ニ於テ日向君ノ說ヲ殆ド反駁シ盡シテ、最早日向君ハ再ヒ此普通選舉ノタメニ議論ヲ開カレヌト思フテ居ッタデアリマスガ、又今日非常ナル熱心ヲ以テ述ベラレマシタカラ、私モ少シ日向君ガ如何ナルコトヲ述ベラレテ、此普通選舉ヲ主張セラレタカト云フコトヲ少シ申述ベテ、而シテ之ニ私ノ意見ヲ附加ヘテ見タイト思フ(「謹聽」ト呼フ者アリ)先ヅ第一日向君ノ言ハレタコトハ昨今私ガ申シマシタル如ク、我國ハ三十七八年ノ戰役ニ於テ非常ナルコロノ手柄ヲ現ハシタ、是ハ誰ニ依ッテ爲サレタカト言ヘバ、選舉權ヲ持ッテ居ラヌトコロノ多數ナル勇敢ナルコロノ兵士ニ依ッテ我國ノ戰勝ト云フモノヲ得タノデアアルカラシテ、之ニ選舉權ヲ與ヘルノハ宜イデハナイカ、斯ウ云フ論ガアッタデアリマス、誠ニ感情ノ上カラ、此ノ如クシテ此多數ノ國民ノ幸トナルナラハ私モ此論ニ賛成スルノデアリマスケレドモ、國民ノ武勇ト云フコト、選舉權ト云フコト、ハ何等ノ關係ハナイノデアリマス、國民ガ選舉權ガナケレバ武勇ガナイトカ、武勇デアレバ選舉權ヲ持ッテ居ラナクテハナラヌト云フコトハ事實ガ明ニ證據立テ、居ル、我國ニ於テモ普通選舉ヲハナイケレドモ、國民ノ勇武ト云フモノハ世界ニ現ハレテ居ルデアリマス、露西亞ニ於テモ其通り、土耳其ニ於テモ其通り、國民ガ武勇デアアルカラ直ニ選舉權ヲヤレト云フコトハ人ノ欲シクモナイモノヲヤッテ人ヲ喜バセヤウトスルノデアッテ、斯ル論ハ毫モ取ルニ足ラヌト思フ、又日向君ハ普通教育ガ今日ハ大變ニ發達シテ居ルカラシテ、此國民ノ知識ガ此ノ如ク進シタトキニ於テ選舉權ヲ與ヘルノハ宜イデハナイカト云フ論デアリマシタ、是モ少シモ取ルニ足ラナイ論デアルト私ハ思フ、知識ト選舉權ト云フモノハ少シモ關係ナイノデアリマス、況ヤ我國ノ教育ニ於テハ政治上ノ教育ト云フコトハ普通教育ニ於テハ全ク是ハ怠ッテ居ルコトデアリマシテ、小學教育ヲ經タカラシテ直ニ國民ガ政治ノコトニ堪能デアルト看做スコトハ出來ナイノデアリマス、況ヤ人ガ一ノ國民トシ、又一ノ市民トシテ持ッテ居ラナケレバナラヌモノハ決シテ知識バカリデハナイ、德ト云フモノモ具ヘテ居ラナケレバナラス、勇氣ト云フモノモナケレバナラス、凡テノコトヲ具ヘナケレバナラス、唯普通教育ガ發達シタカラ直ニ選舉權ヲ擴張シナケレバナラヌト云フコトハ少シモ理由ハナイノデアリマス、ソレカラ又其外最モ笑フベキノ說デアリマシテ、殆ド私ガ此所ニ反駁スル値打ハナイノデアリマスガ、日向君ハ亞米利加ト云フ國ガアルガ、君ハ知ッテ居ルカ、亞米利加ト云フ國ハ實ニ普通選舉アルカラ、アノ通り國運ガ隆々シテ盛ニナッテ來ルト云フコトヲ言ハレル、獨逸ヲ見ク、獨逸ト云フ國ハ普通選舉アルカラ、國運ガ盛ニナッテ來タ、斯ウ云フ論デアリマシタ、是ハ原因結果ヲ轉倒シテ考ヘテ居ラレルノデアッテ、國運ガ盛ニナッタカラ商業ガ興リ、從ッテ勞働者ノ中ニ自ラ普通選舉ヲ主張スル者ガアリ、從デ斯ウ云フヤウナ狀態ガ出テ來タノデアリマス、又亞米利加ト云フ國ハ、是ハ佛蘭西ノ思想ヲ大變歴史的ニ受ケテ居ル國デアリマシテ、其影響モアリマセウガ、此普通選舉ト云フコト國運ノ隆興ト云フコトハ少シモ關係ガナイノデアリマス、日向君ノ論セラレルトコロハ多ク斯ウ云フヤウ

ナ人ノ感情ニ訴ヘテ、其自分ノ雄辯ヲ利用シテ、サウシテ此重大ナル問題ヲ輕キノ間ニ決シテシマハウト思フノデアアル、是ハ吾々が大ニ用心シテ掛ラナケレバナラヌ問題デアリマス私ハマダ申セバ此普通選舉ノ害ヲ論ズルコトハ多クアルノデアリマスケレドモ、最早此位ニシテ止メテ置キタイト思フ、最後ニ申上ゲテ置キタイノハ、日向君ノ如ク感情的ノ論ヲヤツテ、動モスレバ社會黨ノ人ノ云ツタ説ナドヲ御引キニナツテ、サウシテ其論ガ走り過ギテ、若シ我國ニ喜ベカラザルトコロノ思想ト云フモノガ此普通選舉ヲ主張スルニ依ツテ誤テ副産物トシテ出來テ來ルコトノナイヤウニ、深く日向君始メ、此論ヲ贊成ニナル諸君ニ希望シテ、サウシテ私ノ議論ヲ結ハウト思ヒマス(拍手起ル)

○議長(長谷場純孝君) 根本正君

(討論終結)「呼フ者アリ」贊成々々(ノ聲起ル)

(根本正君登壇)

○根本正君 諸君、本問題ニ付キマシテハ委員長ノ報告ニ贊成スルモノデアリマス、此案ニ反對スル者ハ一人モ無イト思フ居リマシタガ、豈圖ランヤ(「大ニアル」)「ト呼フ者アリ」反對スル者ガアルカラシテ已ムラ得ズ此處ニ一言ヲ費サナケレバナラヌ譯デアアル、此普通選舉ト云フモノハ固ヨリ立憲政治ノ原則デアリマス、此原則ヲ反對スルト云フコトハ立憲政治ノ基礎ヲ能ク研究シナイトコロノ結果ト思ヒマス(「ノウ」)「ト呼フ者アリ」此立憲政治ハ即チ民之ニ與ツテ輿論ニ決スルト云フ、即チ廣ク會議ヲ興シ、公議輿論ニ決スベシトハ、即チ此憲法ノ本デアリマス、(小寺謙吉君「英吉利ハドウデアアル」ト呼フ)其通り公議輿論ニ決シマス(小寺謙吉君「君ハ英吉利ノ制度ヲ知ラヌゾ、サウ云フ制度ハナイト呼フ」固ヨリサウダ、追々進メバナルゾ(笑聲起ル)君ハ即チ社會ノ地位發展ヲ知ラザルモノデ、唯一部ノコトヲ思フテ居ルゾ、世界列強文明國タル英吉利ト云フモノモ事實ハヤハリ此普通選舉同様デアルケレドモ、規則上階級ノ制度ガ立ッテ居ル、佛蘭西、獨逸、又其他ノ國ニ於テモ普通選舉ヲ行ッテ居ルノデアリマス、諸君、唯今ノ渡邊君ノ御演說中ニ愚民、或ハ知識ノナイ者ニ選舉權ヲ許スト云フコトハナイト云フコトヲ言ハレタ、是ハ甚ダ我日本帝國ノ臣民ヲ侮辱シタル演說ト私ハ思フ、吾々人民ハ即チ國民教育ヲ受ケテ、ソレノ知識アルモノデアツテ、決シテ選舉スルト云フコトノ知能ヲ持ッテ居ラヌト云フモノハナイ筈デアアル、又此立憲政治ハドウ云フ風ニ出來テ居ルカト云フト、即チ共ニ一致スルト云フコトガ即チ是ガ立憲政治ノ意味デアアル、即チ「コンスチテューションアル、ガバニメント」ト云ツテ共ニ一致スルト云フノデアアル、即チ公議輿論ヲ以テ事ヲ決スルト云フコトデアアル、サウシテ又此事ニ付テ反對スルモノニ若モ普通選舉ガ行ハレタナラバ即チ秩序ヲ紊スト云フヤウナ政府委員ノ言葉モアツタト云フコトノ報告デアアルガ、是等ハ實ニ徒法モナイ愚論デアツテ、サウ云フコトハ決シテ無イ、此立憲政治ノ本ハ即チ上下心ヲ一ニシテ盛ニ經綸ヲ行フベシト云フノガ、即チ此本デアアル、此上下心ヲ一ニスルト云フコトハドウシタナラバ上下心ヲ一ニスルコトガ出來マセウカ、即チ吾々ノ子弟ヲ公平ニ取扱フト云フコトデアリマス、吾々五千有餘萬ノ人民ハ皆 天皇陛下ノ赤子デアツテ、ドレ一人是ガ可愛クナイト、是ガ可愛イト云フコトハナイ、皆同ジコトデアリマス、故ニ上下心ヲ一ニスルト云フコトニナリマスレバ、此

百姓ガ可愛クナイ、金持ガ可愛イト云フコトハナイデアリマス、即チ文明ノ進歩發展ニ從ヒマシテ選舉權モ前ハ十五圓ヲ以テ選舉スルモノデアツタガ、今ハソレガ下テ十圓デアリマス、ソレヲ尙下ケテ普通選舉ニ關スルト云フコトハ「天地ノ公道ニ基クヘシ」ト云フ此聖旨ニ依ツテ居ルモノデアリマス、諸君、此日本帝國ガ封建ヲ廢シテ立憲ノ制度ニナリマシタノハ、即チ臣民タル者ハ殘ラズ日本帝國ノ臣民デ、悉ク日本帝國ノ藩屏デアアルト云フコトヲ覺ラナケレバナラヌ、或人ハ藩屏デアアル、此人ハ藩屏デナイト云フコトガアリマセウカ、日本臣民殘ラス帝國ノ藩屏デアリマス、故ニ此封建政治ノ時分ニハ成程士族ガ國ヲ治メ、國ノ政治ニ與ツテ居タガ王政維新トナリマシテ、上下心ヲ一ニシテ盛ニ經綸ヲ行フベシト云フノデ、即チ民五千有餘萬ノ人ガ同ジヤウナ權利同ジヤウナル此處ニ賜物ヲ受ケタ以上ニハ、普通選舉ト云フコトハモウ既ニ四十二年以前ニ此御趣意ガアツタデアアル、是ガ唯今段々出來掛ツテ來テ居ルノデアリマス、又此事ニ付テ士族ガ國ヲ治メ、士族ガ政治ニ與ツタト云フコトナラバソレモ宜シイケレドモ、今日ハ諸君ノ御子サンモ私ノ子供モ皆徵兵ニナルトコロノ名譽ヲ保テ居ル譯デアリマセウカ、此二十圓ヲ納メテ居ル人ノ子供ガ徵兵ノ名譽ヲ受ケ、此ニ五圓シカ納メナイカラ徵兵ニナル名譽ガナイト云フ譯ハナイデアアル、即チ皆國ノタメニ盡セバ金持ノ子供デアラウカ、金持デナイ貧民ノ子供デアラウカ、皆徵兵ニナルデアアル、即チ日本帝國ノ臣民ハ皆士族ト昇級シタ譯デアリマス(笑聲起ル)ソレデアアルノニ此人ヲシテ區別スルト云フノハ、所謂印度ノ二ノ舞ヲ蹈ムヤウニ階級政治ヲ以テ、此社會ヲ支配スルト云フコトハ文明ノ程度ガ非文明ニ測ツテ居ルモノデ、即チ野蠻ナルモノデアルト斷言ヲ致サナケレバナラヌ、(拍手起ル)諸君、又今日ノ教育ニ付キマシテモ普通教育デアツテ、金持ノ子供ハカリ小學校、中學校へ行クノデアリ、金持デナイ私ノヤウナトコロノ子供モヤハリ小學校、中學校ニ行ツテ、普通教育ヲ受クルノデアリマセウカ、是レ即チ普通ノ教育ヲ受クル者ハ即チ此普通選舉權ヲ與ヘルト云フコトハ道理デアリマス、諸君、斯ウ論ジ來リマスレバ如何ナル反對ガアリマシテモ、是ハ即チ天地ノ公道ニ基イテ居ルトコロデアリマス唯是ガ遲イトカ早イトカノ議論ハアリマスケレドモ、善ハ急ゲト云フコトガアリマス(拍手起ル)善ト思ツタナラバ即チ今日ヨリナサンケレバナラヌ、若シ惡ト思ツタナラバ今直グ止メルガ宜シイ、世界ノ進歩ハ甚シイモノデ、今日ハ空中飛行機ガアツテ七百哩ノ所ヲ一時間ニ飛ブ時節デアリマセウカ、此普通選舉ノ如キハ最早既業ニ行ツテ宜シイデアアル、故ニ諸君、何レノ點ヨリ見マシテモ普通選舉ハ我帝國ニ於テナスベキコトデアアル、又私ガ一ツ終リニ臨ンデ言ハナケレバナラヌコトハ、苟モ内務次官ニシテ此普通選舉ヲ行フトキニハ秩序ヲ紊ス、斯ウ云フコトヲ述ベラレタト云フコトハ、誠ニ是ハ開槍デナリナイトコロノ問題デアリマス、何ゼナレバ秩序ヲ紊ストハ何デアリマスカ、即チ是ハ昨年ノ戊申詔書ニモ上下心ヲ一ニシテ忠實業ニ服シ、勤儉產ヲ治メト云フ聖旨ガアル此上下心ヲ一ニスルノハ何ヲ以テスルカト云フト、人民ヲ公平ニ取扱ハヌケレバ上下心ヲ一ニシヤウガナイ、諸君ニ御子サンガ五人アリマセウ、其御子サンハ吾々ノ如キ貧乏ノ子供デモ同ジヤウニソレノ同ジヤウニ取扱フ、渡邊君ノ御演說中ニ是ハ能ク取扱ヘ、是ハ惡ル取扱デモ宜シイト云フコトデアリマシタガ、渡邊君ハ名譽アル華族ノ御家ニ御生レニナリマシタカラ少シ其邊ノコトガ御分リニナリマスマイガ、決シテ此日本帝國ハ少數ノ百万ヤ

二百萬人ノタメニ犧牲ニナルモノデハナイ、ドウシテモ上下心ヲ一ニスル、ソレニハ即チ同
ジヤウニナサシムレバナラヌデアリマス、此内務ノ次官デスラ、秩序ヲ紊スト云フコトハ實ニ
物ガ分ラナイ、當局者ハ殊ニ内務省ハデス、報徳會トカ云フヤウモノガアツテ、殊ニ此
戊申詔書ニ付テ心配サレテ居ルト云フケレドモ、如何ニモ籠デ水ヲ汲ムヤウナ譯デアルト
私ハ思フ、若シ直ニ二國ニ其聖詔ヲ實行セントスルナラバ、即チ人民ヲ公平ニ取扱フテ、上
下心ヲ一ニスルト云フ基礎ヲ置カシメバナラヌ、其基礎ガナクシテ奉公セヨ奉公セヨト
言フテモ奉公ガ出來マセウカ、即チ是ハ同ジヤウニ愛シ同ジヤウニ權利ヲ與ヘテコソ欣
シテ働クデアアル、且又渡邊君ノ御説ノ中ニドウモ早イカ晚イカニ云フコトガアリマ
シタガ、十五圓ノ納稅者ノ時分ニハ度々解散ガアツテ、國民ハ大ニ之ニ感ハサレテ却
テ困難ノ時代デアラヌ、ソレヨリ十圓ニ下ツタ今日ニ於テハ却テ議會モ四年ツ、毎度續
クヤウニナツタデアリマセヌカ(笑聲起リ)拍手起ル)之ヲ以テ即チ此普通選舉ヲ行フ
御覽ナサイ、解散ガナクナツテ天下泰平(笑聲起ル)日本帝國ハ世界列強ノ第一デア
リマス(拍手起リ)討論終結ト呼フ者アリ

○議長(長谷場純孝君) マダ通告ガアリマス、サリナガラ討論終結ノ聲ガ出タ以上ハ
已ムヲ得ズ採決ヲ致シマス、討論終結ノ動議ニ贊成ノ諸君ハ起立ヲ願ヒマス
起立者 少數

「多數」「少數」ト呼フ者アリ

○議長(長谷場純孝君) 少數 塚田啓太郎君

(拍手起ル)

(塚田啓太郎君登壇)

(「シツカリヤリ給ヘ」ト呼フ者アリ)

○塚田啓太郎君 本問題ニ付テハ討論ハ許サレマイト思ッタラ、幸ニ許サレタデアリマ
スカラ、諸君ノ倦キナイヤウニ、ゴッ簡單ニ主意ヲ述ベテ置キマス、本案ニ付テハ有名ナル
日向君ヲ筆頭ノ提出デ、各派名士ノ打揃ツテ提出者トナツテ居ルコト、大多數ノ諸君
ノ贊成ノアルコトデアリマシテ、思フニ多分大多數ヲ以テ可決ニナルグラウト思フ、併ナガ
ラ眞ニ此法案ナルモノガ國家ノタメニ有益ノモノデアルト云フコトニ本員ガ認メレバ贊成
ヲ致シマスガ、此本案ヲ以テ決シテ今日ニ適切ナルモノデナイト云フコトヲ不肖ハ認メル
タメニ、茲ニ反對ヲ致シテ置ク次第デアリマス(「謹聽」ト呼フ者アリ)苟ニモ法律ヲ
改正スルニ當ツテハ、其法律——現在ノ法律ハ非常ナル弊害ガアルト云フコトヲ十分
認メテ已ムヲ得ズ、其弊害ヲ矯正スルタメニハ法律ヲ改正スルノ必要ガ出テ來ルデア
リマス(「ヒヤ」ト呼フ者アリ)然ルニ本案ニ付テ日向君ハドウ云フコトヲ言ツタカ
ト云フト、此不當ナル法律、狹隘ナル法律ト云フコトノ唯批評ノ言ハ有リト雖モ、之ニ對
スルトコロノ弊害ハ何デアアルカト言ヘバ、其弊害ナルモノハ一言モ言ハナイ(「買収」ト
呼フ者アリ)此買収ト云フコトヲ言ヒマシタ、買収ト云フコトハ此法律ノタメニ矯正セ
ラレカセラザレカト云フコトハ、即チ日向君ノ見込ミノコトデ、吾々ハ此法案ノ改正ノ
タメニ決シテ買収ト云フモノガナクナルト云フコトハアリマセヌ(「ヒヤ」ト呼フ者ア
リ)何トナラバ此現在ノ法律ヲ改正スルトキニハ、大選區區ニシタナラバ此投票買収ト
云フモノハナクナルデアラウト云フコトハ、孰レモ理想トシテ居タデアアル(「其通り」ト呼

フ者アリ)然ルニ此法律ヲ改正シタ後ニナツテモ、決シテ其望ミハ達セナイデアリマス、
又之ヲ普通選舉ト致シタトコロガ、ヤハリ此前回ノ通り之ヲ飽マデ根絶スルト云フコト
ハ出來ナイト云フコトハ是ニ於テ不肖ハ斷言致シマス(「ヒヤ」ト呼フ者アリ)此ノ
如キ薄弱ナル理由ヲ以テ今日ノ法律ヲ改正スルト云フ考ヲ起シマシタノハ大ニ大早計
ト云ハナケレバナリマセヌ(「同感」「謹聽」ト呼フ者アリ)ソレデ此改正案ノ趣意ヲ見ル
ト云フト、此今日ノ法律ハ此一階級ノ者ヲ代表スルヤウニ出來テ居ラデ、全體ヲ代表ス
ルノデハナイト云フヤウナ風ニ言ツテアルケレドモ、今日ト雖モ一般ノ此日本國土農工商
ノ區別ナク、如何ナル階級ノ者ト雖モ代表サレテ居ルト云フコトヲ本員ハ認メル、何人
ガ代表シテ居ルカト云ハバ、御互ニ諸君ガ決シテ一黨一派ノ代表者デアリマスマイ、
孰レモ國民全體ヲ代表スルタメニ出テ居ルノデ、諸君ガ即チ國民全體ヲ代表シテ居ル
ノデ、誰モ諸君ノ中ニオラ主人ノ代表者デアアル(笑聲起ル)オラ雇人ノ代表者デア
ル(笑聲起ル)オラ農ノ代表者デアアル、工ノ代表者デアアルト云フヤウナ、ソナナ小サイ根柢
ヲ以テ、此議場ニ出テ居ル者ハ一人モアルマイト思ヒマス、斯様ナ次第デアリマスカラシ
テ今日ノトコロニ於テ、少シモ此現行法ハ弊害ガナイト認メテ居ルデアリマス、到底ソ
レハチットモナイトハ申サレマセヌ、如何ナル名玉ト雖モ能ク検査スレバ必ズ多少ノ疵ガ
アルノト同様ニ、今日ノ法律ト雖モ改ムベキ處ハアリマセウ、改ムベキトコロガアリマスレ
バ其箇條ヲ能ク熟考シタ後ニ改正スレバ宜シイト思フ、ソレデ此度ノ改正案ト云フモノ
ハ吾々ニ言ハスレバ、尤モ孟浪杜撰ナル改正案デアリマス、ソレデ其實ヲ言ツテ見ルトナ
カク此法案ハ重大ナル法案デアリマス、此ノ如ク僅カナ法案デアラデ、其實ヲ見ルト
非常ナル日本帝國ノ大問題デアアル、故ニ此ノ如キ大問題ヲ提出スルニ付テハ十分調
査研究シタ後ニ愈ニ是デ正當ナモノデアルト云フ、一同ノ——一同デナクモ多數ノ人
ノ認メル所トナツテ始メテ之ヲ持出サレタラ宜カラウト思フ、今日ノトコロニ於テハマダ調
査不十分ト認メルカラ遺憾ナガラ其時ノ來ルマデノ間、之ヲ否決シテ置イテ時機ノ來ル
ノヲ待ツテ、日向君其他ノ諸君ヨリ提出セラレンコトヲ望ミマス、此度ハ已ム得ズ否決セ
ラレンコトヲ望ミマス(拍手起ル)

○議長(長谷場純孝君) 藏原惟郭君

(藏原惟郭君登壇)

(「今日ハ細君ガ御出デニナツテ居リマスカ」「ヒヤ」ト「ヤルベシヤルベシ」「憶セズ
ヤリ給ヘ」「謹聽」ト「簡單」ト呼フ者アリ)

○藏原惟郭君 諸君、普通選舉法案ニ對シテハ段々此壇上ニ於テ高論卓説ヲ承ツタ
デアリマスガ、餘リニ立派ナル國民ノ代表者タル前辯士諸君ノ御説デ、殆ド非難ス
ル所ヲ見出シマセヌ、唯政府當局者ノ委員會ニ於ケルトコロ、答辯、説明ニ付テ甚ダ
遺憾ニ感ズル點ガ二三點アリマス、故ニ之ヲ茲ニ開陳シテ國民ヲ代表セラレテ居ル諸君
ニ訴ヘテ輿論ノ如何ヲ決定シタイト希望スルデアリマス、政府當局者ノ此法案ニ對ス
ル第一ノ反對ノ理由ハ何デアアルカ、此問題ハ實ニ非常ナル大ナル關係ノ國家ニ並ニ社
會ノ上ニ有スルコトデアアルガ故ニ、輕シク之ヲ今日ニ於テ議スベキモノデハナイト云フ意
味ガ含マレテ居ルデアリマス、吾々ハ此問題ヲ慎重ニ研究シツ、アル、決シテ輕シク
研究シ討論スルモノデハナイトデアリマス、此問題ニ付テハ吾々二十年來研究ヲシテ居

(「生レヌ先カラダ、忘レタノカ」ト呼フ者アリ)今日ハ此問題ヲ議スルバカリデナク、事實ノ上ニ我帝國行政ノ上ニ行フベキ、治世ノ上ニ行フベキ好イ機會デアルト信ズルノデアアルカ、之ヲ今日提出シテアル所以デアリマス、一體ニ保守ノ思想ヲ有セラル、トコロノ反對黨諸君ヨリ、此問題ガ提出セラレタト云フコトハ、我輩等ガ非常ニ歡迎スルトコロデアッテ、其又國家遠大ノ慮ガアルコトニ付テハ感謝セザルヲ得ナイノデアリマス(拍手起ル)且此問題ガ重大デアルガタメニ一黨一派ノ黨議ニ依ッテ決定スルニアラズシテ、各其自由ノ意思並ニ自由ノ所見ニ付テ此實否ノ決定ヲスルト云フコトハ、殆ド此議會始マッテ以來ノ甚ダ稱讃スベキ私ハ美事デアルト信ズルノデアリマス、願クハ此ノ如クニ坦懷虛心ヲ以テ種々ノ國家重大ナル問題ヲ諸君ト共ニ議スルコトヲ得タナラバ、昨日ノ如ク議長ヲ煩ハシ議長ノ威信ヲ傷クルト云フ如キ議場ハ決シテナカラウト私ハ信ズルノデアアル、ソコデ諸君(笑聲起ル)政府ハ更ニ普通選舉ヲ行フハマダ日本ノ文化教育ノ程度ガ進マデ居ラヌト云フコトヲ斷言シテ居ル、一木次官モ斷言シテ居ル、平田内相モ此意ヲ以テ明言ヲ致シテ居ルノデアアル、深キ覺悟ヲ以テ吾々ニ答辯シテ居ルノデアリマス、其答辯ノ意ヨリ其口振ヨリ察スルニ、此處二十年ヤ三十年ハ今日現行ノ即チ選舉法ヲ擴張スルノ必要ガナイト、言ハヌバカリノ答辯ヲサレテ居ルノデアリマス、如何ナル議アル、如何ナル所信、如何ナル親密ナル調査ニ依ッテ、此ノ如ク確乎ナル決心ヲサレテ居ルノデアアルカ、吾々ハ甚ダ疑フノデアアル、今ノ内閣諸公ガ二十年モ帝國ノ内閣ニ坐ラレルヤ否ヤハ分ラヌ、併ナガラ此ノ如キ意見ヲ有シテ之ヲ此委員會ニ於テ仄メカサレルト云フニ至ッテハ、吾々ハ之ヲ聽棄ニスルコトハ出來ナイ、諸君ト共ニ實ニ是ハ重要ナル問題トシテ更ニ研究ヲ要シ、更ニ政府ニ要求スルコトコロガナクテハナラヌト思フ、殊ニ教育ノ普及及文化ノ程度ガ低イト云フニ至ッテハ、一國ノ威信ヲ内外ニ宣揚サレントスルトコロノ國務大臣、竝ニ是ガ輔佐タルトコロノ次官輩ノ言明スベキコトデアアルカト云フコトヲ私ハ疑フノデアアル、私ハ實ニ此ノ如キモノハ放言トヨリ外信ズルコトガ出來ナイ(「君モ放言デヤナйка」ト呼フ者アリ)默テ御聽キナサイ(武藤金吉君「本論ヲ述ベヨ」ト呼フ)群馬ノ代議士默テ聽ク(拍手スル者アリ笑聲起ル)ソコデ委員ノ一人ハ文化ノ程度並ニ教育ノ程度ガ、普通選舉ヲナスマデニ發達シテ居ラヌト云フノハ如何ナル理由ニ依ルカ、統計ヲ以テ示セト云フコトヲ追ッタトコロガ、統計ヲ以テ示スニ由ハナイ、唯サウ認メルト云フ、此ノ如キ大問題ヲ一人一個ノ大臣次官ノ輩ガ認メルト云フガタメニ、其議論ガ正當デアアル、其議論ニ依ッテ國民ハ動カネバナラヌト云フコトハ何處ニモナイノデアリマス、甚ダ私ハ己ヲ知ラザルノ言ト思フノデアアル、世界ハ廣イノデアアル、國民ハ多イノデアアル、耻ナキ言デアルト私ハ思フノデアアル、何故ニ私ハサウ云フノデアリマス、試ミニ日露戰爭ハ何ニ依ッテ成サレタカ、是ハ皆サンモン言ハレトコロデアアラウガ、多數ノ國民デアアルノハナイカ、多數ノ國民ガ日露戰爭ニ於テ全勝ヲ得タト云フコトハ、我國民ノ忠貞ナル天性ニ基クト雖モ、二十世紀ノ文明ノ利器タルトコロノ其教育ガ、殊ニ普通ノ教育ガ進歩發達シタルガ所以デアアルノハナイカ、夫故ニ我山縣大將ノ如キモ當時日露戰爭ノ結果ハ實ニ多數ノ教育者ノ日本ノ小學校教員ノ力ガ與テ居ルト云フコトヲ公席ニ於テ公言シタルト云フコトハ、諸君モ又其親分デアルガ故ニ乾兒タルトコロノ其當局者ハ必ズ忘レハシマイト私ハ信ズルノデアアル(拍手起ル)當局者ソレ自身ガ即チ教育ノ普及ヲ認メテ居ル、而モ文部當局者ガ

茲ニ在ルデヤナйка、此文部當局者ハ常ニ統計ニ依ッテ我國ノ教育ノ程度ガ百人ニ付テ九十八人マデハ教育セラレテ居ルモノデアアル、僅ニ一人ヨリホカ教育ヲ受ケナイト云フコトヲ其統計ニ依ッテ、出版ニ依ッテ、印刷ニ依ッテ、新聞ニ依ッテ、當ニ我國民ニ對シテノミナラズ、萬國ニ向ッテ之ヲ名譽トシテ公言シツ、アル、廣告シツ、アルハナイカ、サウ云フコトハ一方ニ於テハ叩カレテ居リナガラ、半面ニ於テドウデアアルカ、即チ内務大臣竝ニ其次官ハ何デアアル、我邦ノ教育ハ甚ダ低イ、我國ノ文化ハ甚ダ低イ、文化ハ低イ、教育ハ低イ、故ニ普通選舉ハ餘リ善過ギルト云フデハナイカ(笑聲起ル)文部大臣竝ニ文部省ノ報告ハ全ク内務省ノ報告スルトコロ、内務大臣ノ言明スルトコロト徹頭徹尾反對デハナイカ、同ノ内閣員ニシテ其閣議ガ纏ラズ、斯ク矛盾ノ言ヲ重大ナル問題ニ於テ勝手氣儘ニ發スルト云フコトハ、果シテ閣僚一致ノ意思ヲ發表スルモノナリヤ否ヤ、吾輩ハ疑フノデアアル(拍手スル者アリ)吾輩ハ實ニ無責任ナル暴言ナリ、根據理由ノナイトコロノ一家ノ獨斷デアルト云フ所以デアリマス(「其通り」ト呼フ者アリ)更ニ諸君、進ンデ尙日露戰爭ノ外ニ此教育ノ力ニ依ッテ、此文明ノ力ニ依ッテ、我國民ガ企テタルトコロノ事業ハ何デアアルカ、遂ニ今日問題トナッテ居ルトコロノ外人土地所有法案ト關聯シテ居ルトコロノ事實ニ茲ニ現出シテ居ルモノハナイカ、政府ハ、内務大臣竝ニ外務ノ當局者ハ、我國ノ文明、我國民ノ知識ノ程度、竝ニ經驗、總テガ最早外人ニ土地ノ所有ヲ許シテモ何等ノ恨事ガナイ、何等ノ不都合ガナイマデニ我國ノ人民ハ知識ニ於テ、若バ程度ニ於テ、若バ社會ノ改善事情ニ於テ、進ンデ來タト云フノデアアリマセヌカ、十年以前、二十年以前ニ於テハ、外人ニ我國ノ土地ヲ所有セシムルト云フコトハ一ツノ國論トシテ大ナル反抗ガアッタノデアアル、其結果社會上、政治上ニ言フベカラザルノ慘劇ヲ來シタコトガアル、又來サントシタノデアアル、然レドモ今ヤ此法案ガ提出サレテ、大多數ノ政友會諸君ハ現政府ト共ニ提攜ヲシテ之ヲ可決シ場合デアアルハナイカ、外務大臣ハ、日本ノ今日ノ進歩ノ程度ハ決シテ外人ニ土地ノ所有ヲ許スト雖モ、何等ノ不都合、不利益ハナイノミナラズ、世界ニ對シテ帝國國民ノ進歩ト、覺悟ノ文明ナルコトヲ示スニ於テ大ナル效果ガアル、之ニ依ッテ來ラントスルトコロノ條約改正モ美事ニ結了スルコトガ出來ルカラ、其準備トシテ、其實ニ外務ノ手腕ヲ揮フノ利益トシテ與ヘラレンコトヲ云フコトデ、此議會ニ持出シテ居ルハナイカ、文部省ノ見ルトコロト、内務省ノ見ルトコロトハ徹頭徹尾意見ヲ異ニスルト云フコトハ如何ナルコトデアアルカ、是レ實ニ暴言デアアル、是レ實ニ理由ノナキトコロノ獨斷デアルト私ハ認メル所以デアアル、諸君、條約改正ハ將ニ關稅改正ハ將ニ二年ノ中ニアル——期年ノ中ニアル此關稅改正モ、何故ニ之ヲナサネバナラヌカ、帝國ノ文明、帝國ノ知識ガ進歩發達シテ、最早列國ニ一歩モ讓ルベキ餘地ガナイト云フコトヲ其事實ニ、其内容ニ於テ聲明シテ居ル所以デアアルハナイカ(「論旨何レニアリヤ」ト呼フ者アリ)然ラバ諸君、是等ノコトハ皆我國ノ教育ノ程度、文化ノ程度ガ、今日ハ列國ト等フマデニ、列國トノ對等ノ地位マデ進ンデ居ルト云フコトヲ、間接ニ、直接ニ、明言シテ居ルノデアルト云フコトニ違ヒナイデハナイカ(「ヒヤ」ト呼フ者アリ)日英同盟ハドウ云フモノデアアル(「何ノ演說スルノダ」ト呼フ者アリ笑聲起ル)君ノ如キハ今一過學校ニ入り直スベシ、諸君、日英同盟ハ如何ナル理由ニ依ッテ成ッテ居ルカ、是ハ兵力ニ於テ、若ハ東洋ノ政策上ニ於テ、其他國

民ト國民トノ間ノ利益トノ一致ニ基キタルコトハ勿論ノコトナルガ、併ナガラ教育、文化ノ程度ガ匹敵セザルモノガ、爭デカ對等ノ同盟ヲナスコトガ出來ルカ(「ヒヤノ」ト呼フ者アリ)半開ノ野蠻人ト、全開ノ文明人ト爭デカ夫婦ニナリ、若ハ提携ヲスルコトガ出來ルノデアルカ、即チ日英兩國ハ精神上ニ於テモ、物質上ニ於テモ、若ハ政治上ニ於テモ、其他東洋人類ノ利害得失ニ關スル大ナル問題ノ上ニ於テモ、一致協同スルコトノ對等ノ資格ガ歴然、顯然トシテ存スルコトヲ基礎ニシテ日英同盟ハ成ツテ居ル、淺薄ナル議員ハ日英同盟何ニ依ツテ成ツテ居ルカト云フコトハ分ルマシ(笑聲起ル)要スルニ政府ガ、教育文明ノ程度ガ普通選舉ヲ行フニハ早イト云フコトハ、詰ルコトヲ曩ニ議員ノ一人ガ明言シタ通り、是ハ國民ヲ侮辱シテ居ルノ言デアルト我等ハ信ジルノデアル、諸君、果シテ國民ノ代表者デアルガ、諸君ヲ侮辱シテ居ルノ言デアル——國民ヲ侮辱スルコトハ諸君ヲ侮辱シテ居ルノ言デアル、其侮辱シテ居ルコトヲ言ニ服從シテ、サウシテツレヲ歡迎シテ、サウシテ其味方トナツテ政府ニ同盟ヲシテ、此普通選舉法案ニ弓ヲ彎グガ如キハ實ニ耻ヲ知ラザル者、國民ノ代表者タルコトヲ忘レテ居ル者デアルト私ハ信ズルノデアル、此等タル選舉ノ利害得失カラ割出シテ、私ノ意見ヲ以テ此問題ヲ左右セントスルコトコノ甚ダ陋劣ナル、卑屈ナル處置デアルト私ハ信ズル、國民ヲ侮辱シテ居ルニ違ヒナシ、政府ハ、何トナレバ國民ト言ヒ、若ハ有ラユル日本ノ今日ノ狀態ハ、文明ノ程度、教育ノ程度ガ十分ニ普及シテ居ル、固ヨリマダ満足ノコトハナイケレドモ、十分ニ普及シテ居ルコトハ何人モ許ストコロデアル、然ラザル限りハ日本國民ハ世界ニ於テ十分ニ對等ノ位置ヲ占メル、對等ノ利益ト對等ノ名譽ヲ完ウスルコト云フコトハ止メルガ宜シト私ハ信ズルノデアル、然ラザル限りハ何處何處マデモ帝國ノ文明ト、教育ノ程度ヲ何處々々マデモ傷ケザルヤウニ、帝國ノ名譽ヲ保留維持スルコト云フコトニ努メンケレバナラヌ、ツレカラマツハ、内務大臣ハ何ト云フカ、普通選舉ノ資格ト云フモノハ一ツノ公職デアルト云フ、公職ト云フ言葉ノ意味ヲ私ハ尋ネタトコログ、内務大臣ハ之ニ答ヘルコトヲ爲サナイ、公職トハ何タル言葉、總テ公ケノ事ニ關スルコトヲ行フト云フコトハ公職ナラザルハナイ、單リ選舉權ニ限ラヌノデアル、而シテ公職デアルガ故ニ普通選舉ハ其クナイ、制限ノナイ選舉ハ其クナイト云フコトハ何ニ理由シテ居ル、制限ヲ與ヘ、國民ト云フ資格ガアル者ニ選舉權ヲ與ヘルト云フコトハ、公職ハナイコトニナルノデアルカ、公職ヲ擴張スル所以デハナイカ、公職、公職ヲ認メル所以デハナイカ、何ニ依ツテ之ヲ擴張メ、何ニ依ツテ之ヲ認メルノヲ反對スルノデアルカ、況ヤ公職、公權ハ即チ人生ノ本性ニ基キタルモノデアル、天地萬有ヲ貫クトコロノ大ナル法則デアル、然ラバ公職デアルガ故ニト云フコトハ無意味デアル、又制限ヲ以テ之ヲ資格ト看做スト云フコトガ甚ダ不都合デアル、資格ト云フコトハ二ツノモノガアルト云フコトヲ認メナクテハナラヌ、第一ニハ何デアル、第一ニハ職業デアル、所謂個人、家族、並ニ國家ガ存在繁榮スル所以アル、國家ノ財政、國家ノ富ガ充實スル所以ノモノハ商業ニ所謂職業ニ基クモノデアル、故ニ國家ハ此職業ノ繁榮、職業ノ獎勵、國民ヲシテ皆職業ニ就カシメテ、所謂一定ノ職業、一定ノ獨立ノ仕事ヲ有セシムルト云フコトガ施政ノ大方針、又大目的デナクテハナラヌ、然ラバ選舉ノ資格トシテハ職業ヲ有シテ居ルカ、有シテ居ラヌカ、而モ其職業ハ所謂其人ヲ維持スルニ足ルベキ獨立ノ職業ヲ有シテ居ル

カ、有シテ居ラナイカト云フコトヲ考ヘナケレバナラヌ、其次ハドウデアルカ、財產デアル、財產ハ即チ「プロパルティ」デアル、此財產「プロパルティ」ハ何ニ依ツテ出來ルノデアルカ、所謂職業ノ積重ツタノガ財產「プロパルティ」デアル、職業ハ即チ財產ノ基礎デアル、財產ハ職業ヲ有セシメテ得ラルベキモノデアルノデアルガ、此不完全ナル世ノ中ニハ職業ナシニ財產ヲ有シテ居ル社會ガ澤山アル、(「君ノ職業ハ何ダ」ト云フ者アリ)例ヘバ政府ノ役人ノ如キモノハ職業ハナイモノデアル、一時役人ヲ罷メラルレバ職業ハナイモノデアル、而シテ多クノ金ヲ貯ヘテ居ル人ガアル、併シハ變則デアルマシ、(「モウ澤山ダ」ト云フ者アリ)イヤ、マダ、然ラバ諸君財產ニ加フルニ職業ヲ以テシナケレバナラヌ、併ナガラ財產ト職業ヲ以テハ社會ノ總テノ要素ヲ盡シテ居ラヌ、更ニ進ンデハ專門ノ知識、特殊ノ道德ト云フモノヲ此資格ノ一ニ加ヘナケレバナラヌ、然ラバ職業、財產、知識、又ハ道德ニツノ資格ト云フモノガ相結シテ是ガ等シク公平ニ選舉權ニ代表サレテコソ始メテ所謂公權、公職ト云フモノガ成立ツノデアル、然ルニ我國ノ選舉權ハドウデアルカ、唯財產一方ニ偏シテ居ル「プロパルティ」財產ヲ目的トシ標榜シタル選舉資格デナイカ、此事直ニ選舉權ノ資格ニ不十分デアツテ、國民ノ總テノ要素ヲ全ク完全ニ此選舉權ナルモノニ代表セシメテ居ラヌ、含蓄セシメテ居ラヌト云フコトハ如何ニ平田内相ガ時勢ニ後レタル知識デアルト雖モ分ラヌコトハ無カラウト私ハ信ズルノデアル、然ラバ諸君、現今ノ法律ガ選舉權ヲ獨リ財產ニノミ限ルト云フコトハ理由ニ於テモ、若ハ國家ノ運用上、生存上ニ於テモ是ハ正當ト認メルコトハ出來ナイ、速ニ此範圍ヲ擴張メテ財產ニ加フルニ職業、職業ニ加フルニ專門ノ知識、殊ニ道德ト云フモノヲ加ヘテ以テ國民ノ選舉資格ヲ高メナケレバナラヌ、同時ニ又擴張メナケレバナラヌト私ハ信ズルノデアル、然ルトキニハ所謂選舉權ニ依ツテ代表サレタルコトヲ諸君ハ少數ノ階級ニ依ツテ代表セラルトコロノ議員ニアラズシテ、多クノ國民ニ依ツテ代表サレタル正々堂々タル代議士デアルト思フノデアリマシ、今日ノ諸君ハ堂々タル代議士ニハ違ヒナイケレドモ、サウ成ツタトキニハ諸君ハ愈々堂々タルナラレル譯デアル、所謂名譽ノ上ニ名譽ヲ擔ヒ、錦上添花飾ルノ類ハ此事デアラウト思ヒマスカラ、諸君モ願クバ贊成セラレンコトヲ希望スル、然ラバ諸君前辯士ガ云ハレタル通り、此普通選舉ヲ今日行ハントスル法案ガ出タト云フコトハ決シテ是ハ一時ノ思付キ、若ハ人氣受デナイ、一辯士ハ之ヲ人氣取デアル、國民ノ歡心ヲ買ハンガタメデアルト申スコトハ何事デアル、實ニ左様ナル不謹慎ナ言ヲ發セラルト云フコトハ私ハ此議會ガ容サザルトコロデアルト思フ、吾々ハ謹慎シテ更ニ國家、國民ノためニ此選舉ノ普及擴張ガ最モ肝要デアルト認メルヨリ此處ニ此問題ニ汗ヲ流シ幾ダ涙ヲ灑イデ諸君ニ訴ヘル所以デアル、願クバ諸君モ此問題ニ付キテハ熱慮ト云フマデモナク滿場一致ヲ以テ可決セラル、ト云フコトハ眞ニ私ハ帝國ノ永久ナル安全ナル國家ノ繁榮ト富強トヲ期シ、竝ニ國民ノ知識ト品位トヲ上ゲルトコロノ一大手段デアルト云フコトヲ考ヘラレンコトヲ希望スルノデアリマシ、如何ニ普通教育、若ハ文明ノ方法ハ多方面ヨリ進ムト雖モ國民ガ實際上、政治上ニ於テ訓練スルコトガナクンバ國民ハ政治上ニ於テ進歩發達ヲ缺クモノト觀ナケレバナラヌ、普通選舉權ヲ與ヘテ、而シテ四年毎ニ國民ノ代表者ヲ競爭ヲ以テ選舉スルコト、竝ニ地方縣會、郡會、若ハ市町村會ニ於テ所謂普通選舉ニ依ツテ選舉ヲ行フト云フコトハ普通教育カ、若ハ其他ノ方法ニ依ッ

テ國民ノ智識思想政治上ノ經驗、竝ニ德操ヲ訓練スルト云フコトニ於テ、實ニ非常ナル力デアルト私ハ信スルノデアアル、歐米諸國ハ普通選舉ヲ行フコトニ依ッテ今日ハ苦シク居ルト云フコトハ何タル言デアリマス、苦シク居ル、之ヲ惡弊ト認メテ居ルナラバ止ムベキデハナイカ、之ヲ行ハヌト云フ國民ハ欺カレテ居ル、諸君ガ惡弊ナリトシテ苦シク居ル、普通選舉ハ日々益々盛シクアルデハナイカ、ドコノ國ガ此惡弊ニ顧ミテ普通選舉ヲ止メタノデアリマス、普通選舉ノ範圍ヲ狹メタ國ハドコニアルカ、唯、空論シテ言フ大ニシヤベツテ、而シテ國民ヲ賢明ナル議員ガ瞞著セントスルトコロノ一二議員ノ精神ノ甚ダ透明ナラザルヲ私ハ悲ムノデアアル、願クハ諸君、此問題ニ付キマシテハ滿場一致、殊ニ政友會ノ首領様ハ悉ク立ッテ贊成セントラ希望シテ止マヌ

○伊藤大八君 論旨略々盡シタリト思ヒマスカラ、討論終結ノ動議ヲ提出シマス

(贊成々々)ノ聲起ル

○議長(長谷場純孝君) 討論終結ニ御異議アリマセヌカ

(異議ナシ異議ナシ)ノ聲起ル

○議長(長谷場純孝君) 御異議ナシト認メマスカラ討論ハ是テ終結致シマス、採決致シマス——著席ヲ願ヒマス——採決致シマス、即チ本案ハ二讀會ヲ開クヤ否ヤニ付テ採決ヲ致シマス、本案ノ二讀會ヲ開クベシト云フ方ニ同意ノ諸君ノ起立

起立者 少數

(少數々々)極メテ少數ト呼フ者アリ

○議長(長谷場純孝君) 少數本案ハ二讀會ヲ開クベカラズト云フコトニ決シマシタ

(拍手起ル)

○武藤金吉君 議長

○議長(長谷場純孝君) 報告ヲ致シマス、即チ武藤金吉君ノ質問ニ對シテ唯今答辯ガアリマシタ、是ハ緊急ト認メマスカラ報告ヲ致シマス

(書記朗讀)

衆議院議員武藤金吉君提出ノ不敬流言ニ依ル質問ニ對シ別紙答辯書差進候也

明治四十三年三月十九日

内閣總理大臣侯爵桂太郎

衆議院議長長谷場純孝殿

(別紙)

武藤金吉君提出ニ係ル不敬流言ニ係ル質問ニ對スル答辯書

三月十七日ニ於ケル風説ノ出所ニ就テハ目下嚴密搜查中ナリ

明治四十三年三月十九日

内務大臣男爵平田東助

○議長(長谷場純孝君) 日程第九、北海道釧路、根室間鐵道速成ニ關スル建議案ヲ議題トナシ、議案ノ朗讀ハ省略致シマス、提出者白石義郎君外一名

第九 一名提出

北海道釧路根室間鐵道速成ニ關スル建議案(白石義郎君外一名提出)

北海道釧路國釧路ヨリ根室國根室ニ至ル鐵道

右鐵道ハ拓殖上交通上速成急設ヲ必要ト認ム依テ政府ハ相當ノ處置ヲ執リ起工建設アラムコトヲ望ム

(白石義郎君登壇)

○白石義郎君 我ハ極メテ簡單ニ本案提出ノ理由ヲ申上ゲマス、此線路ハ去ル二十九年ニ法律第五十三號ヲ以テ北海道鐵道敷設法案ニ於テ第一期線ニ定メラレマシタ線路デゴザイマシテ、是ハ北海道鐵道幹線ノ一部ニシテ、其東ノ端ナル釧路港ヨリ根室ニ通スル凡ソ八十哩程ノ線路デゴザイマス、此鐵道ハ彼ノ根室ニ通シマシテ、即チ根室港ハ御承知ノ如ク千島ヲ控ヘマシテ、元ト一縣ヲ置カレマシタ處デゴザイマス、其沿道ニハ北海道ニ於テ最モ古クヨリ開ケテ居リマシタ厚岸港モゴザイマシテ、此鐵道敷設ノ結果開發セラルベキ原野ハ凡ソ八百萬町歩程デゴザイマス、最モ拓殖ニハ必要ナル線路ト信ジテ居リマス所デ他ノ一期線ハ大概落成致シマシテ二三落成致シマセヌ分モ一兩年中ニ開通ヲ見ルコトニナッテ居リマシタガ、獨リ此線路ハカリ未ダ起工ノ運ビニ相成リマセヌハ甚ダ遺憾ト存ジマス故ニ、ドウカ成ルベクダケ速ニ此一期線ヲ完成セラレンコトヲ希望スル次第デゴザイマスカラ、ドウウ御贊成ヲ願ヒマス

(贊成々々)ト呼フ者アリ

○高木益太郎君 質問ガアリマス、此鐵道ハ一哩幾ラ掛ッテ、サウシテドノ位ノ金額ヲ要スルノデアアルカ

○白石義郎君 ツレハ政府委員デナイト私ニハ能ク分リマセヌ

○伊藤大八君 本案ハ北海道ノ鐵道ノ幹線ニ屬シテ居ルトコロノモノデ、既ニ豫定線ニモ載ッテ居リマスルトコロノ鐵道デゴザイマスカラ、是ハ直ニ可決セントラ希望致シマス

(贊成々々)「反對々々」委員付託「即決可決」ト呼フ者アリ

○議長(長谷場純孝君) 本案ハ直ニ之ヲ可決シタイト云フ動議ガアリマス(「反對々々」贊成々々)ト呼フ者アリ)ツレニ付テ即チ反對ガアリマス、即決反對ハ即チ即決可決ノ反對デアリマスカ

○高木益太郎君 委員付託……

○議長(長谷場純孝君) 委員付託ガ出ル以上ハ先決問題デアリマスカラ委員付託ノ方カラ採決致シマス、本案ハ特別委員ニ付託スルト云フ方ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 少數

○議長(長谷場純孝君) 少數、本案ハ即決可決ト云フ方ニ同意ノ諸君ハ起立

起立者 多數

○議長(長谷場純孝君) 多數ニ依ッテ採用スルトニ決シマス、日程第十、漁港開築ニ關スル建議案ヲ議題トナシ、議案ノ朗讀ハ省略致シマス、提出者三浦覺一君外二名——三浦君

第十 漁港開築ニ關スル建議案(三浦覺一君外二名提出)

漁港開築ニ關スル建議案 遠洋漁業ノ發達ヲ期スルハ刻下ノ最大急務ナリ而シテ此ノ目的ヲ達セムト欲セハ第

四七三

學法科ノ如キニ於キマシテハ、一週間ニ二十時間ト云フ如キ講義ヲ聽カサル、ノ
アル、一週間ニ三十時間ノ講義ヲ聽カサル、バ、其聽イタコロノ講義ヲ筆記シ、而シ
テ之ヲ家ニ歸テ整理スルト云フコトニナリマス、其日ノ力ガ全ク盡キテシマフ、自分
自カラ參考書ヲ研究スル、書籍館ニ行テ研究スルナドト云フ餘裕ハ少シモナイノデ
アル、是ハツマリ無間ニ學科目ヲ増設シテ、殖ヤシテ學生ノ力以上ノコトヲ強ムルノ
アル、何故ニ斯様ナ結果ガ出テ來テ居ルカト云フニ、是ハ又一種妙ナトコロカラ起
テ來テ居ル、學者ト云フモノハ世ノ中カラ尊敬セラレテ居ルノデアル、併ナガラ世ノ中カ
ラ尊敬セラレテ居ル程此學者ト云フモノガエライモノデナインデス、是ガヤハリ普通ノ人
間デアリマシテ、名譽心モ多クアル、其學生ノ利益ノミヲ攻究セズシテ、己ノ名利ト云フ
コトニ汲々タルト云フ學者ガ、學者ト云フ看板ヲ上ゲテ居ル人ノ中ニ幾ラモアルノデアル、夫
故ニ大學ナドニ於キマシテ、或種ノ科目ヲ必須科目、即チ必ズ學生ガ講義ヲ聽カケレ
バナラマモノ、又隨意科目トシテハ餘裕ガアレバ聽イテモ宜イト云フヤウニ別ケテアルニ拘
ラズ、段々段々學校ノ講座ヲ受持ツトコロノ人ガ隨意科目ト云フコトニシテ置クト、學
生ノ之ヲ聽ク者ガ甚ダ少ナイ、夫故ニ友人ヲ語ラテ是モ必須科目ナリ、是モ必須
科目ナリト云フ段々段々科目ガ殖エテ來ル、學生ノ苦ムノハ一向構ハナイデ、自分ガ
少シ調ベタコトヲ吹聴スルタメニ、必須科目ト云フモノヲ大ニ増スト云フ、其結果ドウ云
フヤウニナツテ居ルカト云フト、此頃ノ大學ノ學生ハ講師ノ講義ヲ受取ツテ、サウシテソレ
ヲ記憶スルコトヲ位シカ餘裕ガナイノデアル、是ハツマリ一ニハ科目ガ多過ギルト云フコ
ト、一ニハ授業方法ガ惡ルイト云フコトデアアルノデアル、私共ノ考ヲ以テ見マスルト、一體
學問ト云フモノハ學校ニ於テノミルモノデハナイト思フノデアル、學校ニ於キマシテハ唯
端緒ヲ授ケテ自ラ研究スルノ方法ヲ知ラシムレバ、ソレカラ後ハ自分自身ノ研究スベキモ
ノデアツテ、人カラ教ヲ受クベキモノデハナイト思フノデアル、然ルニ今ノ制度ト云フモノ
ハ所謂諸主主義、無間ニ教師ノ知ツテ居ルコトヲ生徒ニ授ケル、其教師カラ授カッタ
コトコロノモノヲ能ク記憶シテ、教師ノ意ニ合フヤウナコトヲ答案ニ書ケバ試験ニ及第ス
ルト云フコトニナツテ居ル、斯様ニシテ拵ヘタトコロノ學生ガ世ノ中ニ出テ何ノ役ニ立ツ
カ、民法ハ御承知ノ通り何百條カノ澤山條文ガアル併ナガラ世ノ中ノ出來事ガ此條文
ニ當嵌マルモノト云フモノハ殆ト一ツモ無イ、ソレト同ジ様ニ學校ニ於テ教ヲ受ケタコト
ニ丁度適合スル事柄ト云フモノハ、社會ニ於テ實際ノ勳ヲ爲ス場合ニ於テ決シテ無イノ
デアル、其場合ニハ學校ニ於テ唯研究スル方法ノミノ教ヲ受ケテ居リ、自分自身ガ事ニ
當リ物ニ觸レタ時分ニ研究スルダケノ能力ガアレバ、如何ナル新ナル事ニ觸レマシテモ、
之ニ適合シタトコロノ處置ヲ執ルコトガ出來ルノデアル、然ルニ自ラ考ヘル力ガ無クテ教
ヲ受ケタダケノ事デケデ、丁度基テ云フト定石デケ知ツテ居テ勳ナイヤウナモノデ、何ノ役
ニモ立タナイト云フ譯ニナル、是等ガ今ノ學制ノ弊ノ大ナルモノデアルト思フノデアル、而
シテ此學制ヲ改正スルニハ、根本的治療ヲ要スルト思フノデアリマス、而シテ此根本的
治療案ト云フモノガ、私ハ文部當局者、若ハ帝國大學ニ講座ヲ持テ居ル人ト云フヤ
ウナ人ニ百年委シテ置イテモ此改革案ハ出テ來ナイト思フノデアアル、是等ノ人ハ所謂
渦中ニアルトコロノ人デアアル、是等ノ人ハ繩墨ノ繩束ヲ受ケテ居ルトコロノ人デ、餘所ガ
ラ——側面カラ見ナイノデアアル、其中ニ入ツテ居ル病人ニ向ツテ、其病ヲ治ス方法ヲ講セ

ヨト云フコト殆ト同ジコトデアリマスカラシテ、此學制改革案ナルモノハ寧ろ政治家ノ方面
カラシテ案ヲ立テ、授ケナケレバナラヌト思フノデアアルデス、是ニハ幸ニ今ノ總理大臣ハ比
較的學者デナイ、又小松原文相モ比較的學者デナイカラシテ、却テ學制案ニ向ツテハ大
斷案ヲ下シ得ルカモ知ラヌト思フノデアアル、此人達ガ若シ赤門出身デ、モアッタナラバ、如
何ニ講義ヲシテ聽カセテモテモ分ルマイト思フノデアアル、サレバ此根本的治療ヲ爲スニハ
ドウ云フ方面カラ之ヲ攻究シタナラバ宜イカト云フニ、先ツ第一ニ學問ノ目的ヲ明
カニスルト云フコトガ必要デアルト思フノデアアル、是ハ今マデノトコロデハドウモ餘リ明カニ
ナデ居ラナイノデアアル、歷史的ニ言ヒマスルト、帝國大學ノ如キハ先ツ役人養成所ト云
フ所デアッタルデアアル、彼ノ學校ノ出來タ時分ニハ役人養成モ必要デアッタデアリマセウ、併
ナガラ今日ハ役人養成所、官吏養成所ト云フヤウナモノハモウ用ハ無イノデアアル、此目
的ト云フモノハ學問ノ目的カラ排斥シテシマハナケレバナラヌト思フノデアリマス、然ラバ何
ヲ以テ學問ノ目的トスルカ、小學ノ如キハゴク普通ノ教育ヲ與フルノガ學問ノ目的デア
ルト云フノハ申スマデモナク、中學ノ程度ニ於キマシテハ善良ナル國民ヲ作ルト云フノガ學
問ノ目的デアラネバナラヌト思フノデアアル、學問ト云フモノニ向ツテ國家ガ費用ヲ用非、一般
ノ國民カラ取立ツタトコロノ稅ヲ以テ學校ニ用ユルトシマシタ以上ハ、善良ナル國民ヲ作
ルト云フヨリ外ニ目的ハアルベカラザルモノデアルト思フノデアアル、ソコデ此事カラ申シマ
スト、私ハ學校ヲ小學、中學、專門學校、大學ト云フ位ノ區別ニ致シマシテ、小學、中學
ト云フコトニ付キマシテハ、唯今申シタヤウナ話、ソコデ中學ヲ了ツタトコロノ程度ノモノニ
向ツテハ專門學校ニ之ヲ入レテ專門技術ヲ教ユルヲ以テ目的トスベシデアアル、即チ世ノ中
ニハ專門ノ技師ト云フモノガ總テノ方面ニ於テ必要デアアル、技師ト云フモノハ私ハ廣イ
言葉ヲ以テ之ヲ用ユル、即チ陸軍ニ於テハ士官學校ノ如キ、海軍ニ於テハ海軍大學ノ
如キ、又商船ニ乗ルトコロノ商船學校ノ如キモノ、法律技師、即チ判事、檢事、辯護
士、ト云フヤウナ法律技師、ソレカラ衛生並ニ人ノ病ヲ治スノガ醫學技師トモ云ヒマス
カ、橋ヲ架ケルノハ橋ノ技師、道路ヲ造ルノハ道路技師、兔ニ角專門ノ學術ヲ要スルモ
ノヲ總テ先ツ技師專門トスルノデアアル、是ニハ今ノ中學ヲ了ツタトコロノ者デハニ相當ノ
豫備學ヲナサシメ、豫備教育ヲ與ヘテ、其豫備教育ヲ了ツテカラ其專門學科ヲ授ケル、
而シテ大學ト云フモノハドウ云フ者ガスルカ、ソコデス、私ハ大學ト云フモノハ極メテ高尚
ナル紳士ヲ作ル、ドウ云フ風ニ之ヲ言ヒ現ハシテ宜イカト思ヒマシタガ、丁度近頃斯ウ云
フ言葉ニ出會ツタデス、「行ツテ餘力アレバ則チ文ヲ學ブ」ト云フ言葉ヲ私ハ見出シタ、少
シ私ニハ柄ニナイ言葉デアアル、即チ大學ト云フモノハ、即チ餘力アル、外ノコトニハ用ガ足
リテ餘裕ノアルトコロノ人ガ文ヲ學ブト云フ處ガ即チ大學デアアル、今ノヤウニ醫者ニナルト
カ、法律家ニナルトカ、橋ノ大工ニナルトカ、鐵道ノ大工ニナルトカ云フヤウナモノガ大學ト
云フモノデヤナイ、是ハ專門學校ニ於テ技術ヲシテ教育スレバ宜イ、大學ト云フモノハ極メ
テ高尚ナルモノデアツテ財政ニモ餘裕アリ、外ニモ餘裕ガアツテ、立派ナル完全ナル紳士ヲ
造ルト云フ處デアアルト云フコトニ致スノデアリマス、サウスルト、是ハ寧ろ贅澤ニ屬スルモ
ノデアツテ、完全ナル紳士ヲ造ルト云フ場合デアリマスカラシテ、サウ多クハ人ガ來ナイデア
ラウト思フノデアアル、唯今ノヤウナ學制ニシテ置ケバ、小學ノ者ハ中學ヘ行キタガル、中
學ヲ了レバ高等學校ヘ行キタガリ、高等學校ヲ了レバ帝國大學ヘ行キタガル、斯ウ云

フ風ニシテ、總テノ學生ト云フモノガ帝國大學マデ行カナケレバ學問ヲシタト云フヤウナ
心持ニ自分モナラズ、世間モサウ認メナイト云フコトデアリマシタナラバ、大學ノ數ハ幾ラ
拵ヘテモ足りナイト思フノデアル、本年ノ豫算デモ、文部省ノ所管ニ於テ七百五十万圓
計上シテアッテ、本省デ使フノハ僅ニ五十餘万圓、而シテ大學其他ノ四百九十万圓カ
使ツテ居ル、即チ七百五十万圓ノ中デ凡ソ五百万圓ト云フモノハ大學、其他ノ高等學
校デ用井テ居ル、デ之ヲ倍ニシタトコロガ迷子ニナツテ居ル學生ヲ皆收容スルト云フコトハ
逆モ出來ナイノデアル、ソレデアリマスカラ今日學制改革ヲ論ズルノニ、綜合大學ガ宜イ
トカ、單科大學デモ宜イトカ云フヤウナコトデハ、是ハ最モ末ノ話デ、ソシナコトハドウデ
モ宜シイ、私ノ考デハ一科目デモ大學ト云フコトガ言ヘルナラバ言ツテモ宜カラウト思フ、
單獨デアアラウガ綜合デアアラウガ、ソシナ小サナ問題今論ズベキ問題デハナイト考ヘルノデア
ル、ソレカラ學制ニ關係ノアル試驗制度デアル、今ハ殆ド學校ト云フト試驗ト云フコトヲ人
ガ聯想ヲシテ居ル、是ガ大ナル間違ヒ、元ト帝國大學ガ官吏養成所ト云フヤウナ趣意デ
出來テ居ル、ソコデ文官任用令文官試驗、高等文官試驗、外交官試驗ト云フヤウナ
モノハドンナモノカト云フト、是ガ又一ノ關門ヲ拵ヘテムツカシイ試驗ヲ經ナケレバドウシテモ
役人ニシテヤラヌゾ、大學ノ方ニナルト高等文官試驗ニ及第スルヤウナ生徒ヲ造ツテ來ナ
イト學校ガハヤライ、信用ヲ得ナイト云フノデ、此試驗ニ及第スルヤウナ學生ヲ造ルノデ

等教育ヲ政府ノ力ノミニ依ッテ之ヲ爲サウト云フコトハ是非共是ハ排斥シナケレバナラナイ、此政府萬能主義ト云フモノハ結果ニ於テ惡ルイノミナラズ、又財政ノ上ニ於テモ餘程金ガ餘計要ル話デアル、然ルニ從來ノ文部當局者ト云フモノハ私立學校ガ現ハレテ來ルト敵ガ出テ來タヤウナ扱ヒヲシテ居ル、敵ドコロデハナイ、非常ナル應援者ガ出來テ來タト見テ、之ヲ歡迎シナケレバナラナイ、十分ナル便利ヲ與ヘナケレバナラナイノニ、帝國大學ノ講師ガ暇ガアッテ私立大學ニ教ヘニ往クト、ソナナコトヲシテハナラヌゾト云フヤウナコトヲ文部省ノ人モ言フシ、大學ノ總長モ言フ、馬鹿氣ヲ話デアル、己ノ事業ヲ助ケテ呉レル、慈善のニ國家ヲ思ウテ助ケテ呉レルモノガ現ハレテ來ルノニ、ソレノ邪魔ヲシテ成ベク良イ講師ハ自分ノ方ニダケニ集メテ置イテ、專賣デモヤラウト云フヤウナ考ヲ持ッテ居ル、大ナル間違デアル、政府萬能主義ト云フモノハ根本的ニ排斥シテシマハナケレバ、此學制改革案ト云フモノハ到底行ハルベキモノデハナイト思フノデアル、大分學制研究會ト云フヤウナモノガアリマシテ、學者先生達ガ研究シテ居ルト云フコトデアリマスケレドモ、私ハ此等ノ人ノ研究ニハ三文ノ價モナイト思ウテ居ルノデアル、（拍手起ル）學制研究、學制改革ナルモノハ政治家方面、即チ此議場カラ大ナル根本的案ヲ下シテ大鉈ヲ加ヘナケレバ、到底此治療ハ出來ナイモノト信ズルノデアリマス、因テ此建議ヲ提出シタル所以デゴザイマス

〔服部綾雄君登壇〕

1000

○服部綾雄君 私ハ茲ニ一言述ベテ此建議案ニ贊成ノ意ヲ表シマス 多ク申ス必要ハゴザイマセズ、唯私が提出セラレタルトコロノ代議士ト違ウタル政黨ニアルト云フ故ヲ以テ、唯此處ニ一言述ベル次第デアリマス、學制問題ハ多年ノ問題デアリマシテ、此議場ニ是ガ現ハレマシタコトハ誠ニ満足ニ思フ一人デゴザイマス、實ハ帝國學制案ナルモノガ提出セラレマシテ、私ハ其委員トナツテ居ルモノデアリマスガ、少シク満足スルコトノ出來ヌモノデアリマシテ、私ハ此ニ此建議案ヲ贊成シテ、アノ案ヲ否決スルト云フ意ニ於テ私ハ之ヲ贊成スルモノデアリマス、私ハ多年希望ヲ持ツテ居リマシタノハ、ドウカ國民學校ト稱シテ專門學校ト稱シ、大學ト種スルヤウナ組織ニシタイモノデアアルト云フコトヲ希望シテ居タモノデアリマス、今提出者カラ御話シニナリマシタ小學校、中學校ト稱ヘタモノヲ私が國民學校ト見ルノデアリマス、義務教育トシテ受クベキトコロノモノヲ國民學校ト稱ヘルナラバ、中學校ノ如キモノヲ高等國民學校ト稱ヘルト云フヤウナ案デアアルト自分ハ考ヘテ居リマスガ是ハ小トナラウト、中トナラウト、サウ云フコトヲ私ハ思フモノデハアリマセヌガ、實際迷子ノ多イノハ非常ニ私モ感ジテ居ルコデアツテ、殊ニ其迷子ノ相談役ニ私ハ多クナルモノデアリマス、學生ノ前途ヲ思ヒマシテ是非議會ナドニ於テ斯ウ云フコトガ現ハレネバナラヌモノデアアルト云フコトヲ思ウテ居ッタ、此時幸ニ斯ウ云フ建議案ガ出マシタノデ私ハ歡シデ之ヲ贊成スルモノデアリマス、願クハ政黨政派ナドニ別レベキ問題デゴザイマセヌカラ、私ハ全會一致ヲ以テ可決セラレ、政府ニ建議セラレンコトヲ希望シマス

○荒川五郎君 此提出者ノ說明ニ第一學制ト云フコトハドウ云フコトデアルカノ御解釋ガナイ、今日ハ制度ノ上ニ學制ト稱スルモノガナイ、小學校令、或ハ師範學校令、大學校令ト云フモノガアツテモ(無用々々)ト呼フ者アリ)是ハ免ニ角大體世間ノ學制ヲ統一シヤウト云フ問題ガ其意味デアラウト思フノデアリマス、ソレカラ其次ニ學科ヲ注入致スト云フノデアル、大學ガ官吏養成所デアルトカ云フノハ是ハ制度ノ罪ヨリモ人ノ罪デアル歟ヘル人ガ注入致スカラソレヲ注入ニナル、制度ヲ變ヘテモ其教エル人ヲ變ヘナケレバ注入ト否トノ問題ヲ論ズルコトハ出來ナイ、況ヤ帝國大學校令ニハ決シテ官吏ヲ養成シヤウト云フ箇條ハ書イテナイ、(無用々々)ト呼フ者アリ)先ヅ夫等ハ措キマシテモ、提出者ハ根本的ニ改革ヲシナケレバナラヌト言ハレマスガ、根本的ニ改革シヤウト云フ意味ハ法律ヲ以テ定メヤウト云フ意味デアルカ、或ハ是マデノ如ク勅令ニ依ルト云フノデアルカ、是ハ此問題ノ根本ニ大關係ノアルコトデアリマス、然ルニ提出者ハ唯根本的ト云ハレタノミデ、此本義ヲ明ニセラレナイ、曩ニ政友會ノ諸君ヨリ帝國學制案ナル一ノ法律案ガ出テ居ル、サウシテ其提出者ハハリ此建議案ニ賛成シテ居ラレ、曩ニ法律案ガ出ルヤ、政友會ニ於テハ黨議ヲ以テ決定シテ、サウシテ委員ニ附託セラレテ居ルノデアル、既ニ法律ヲ以テ研究シヤウト云フコトヲ極メテ、黨議ヲ以テ之ヲ委員ニ付託シナガラ、更ニ此處ニ法律ニ依ルカ、或ハ今日ノ如ク勅令ニスルカ、其意味モ明カニシナイデ、サウシテ此建議ヲ致スト云フコトハ前後甚シキ矛盾デアルト私ハ思フノデアリマス、是ハ即チ曩ニ出タルコロノ學制案ナルモノヲ、縱シ政友會ガ黨議ヲ以テ否決シテ、更ニ後ニ法律デハシナイ、從前ノ形式ニ依テ之ヲ統一シヤウト云フナラバ議論ノ順序ガ立チマスカラ其理由ヲ承ハルコトガ出來ルガ、之ヲ二重ニ此問題ヲ出ス、特ニ法律案ノ提出者モ此建議案ニ同シク賛成ヲ表シテ居ルト云フニ至ッテハ最モ其理由ヲ得ナイノデアリマス、既ニ曩ニ政友會ハ黨議ヲ以テ決シ本會ハ之ヲ容レテ委員ニ付託シテアル、委員ニ付託シテアル上ニ又其理由ノ不明確ナル案ヲ出サレルト云フノハ尙更分ラヌ次第デアリマスカラ、ソレデ第一點ニ提出者ハ根本的ニ改革ト云ハレ、根本的ニ改革ノ意味ハ如何ナル意味デアルカ、即チ從前ノヤウニ勅令ノ形式ニ依ル積リデアルカ、法律ノ形式ニ依ルト云フ精神デアルカ、此點ヲ第一ニ伺ヒタイ、第二ニ曩ニ極メラレタル帝國學制案ナルモノニ付テハドウ云フ異見デアルカ、又之ヲ議場ノ問題ト既ニ政友會モ——既ニ鳩山君ノ如キモ黨議ニ賛成シテ之ヲ極メラレタノハ甚ダ遺憾デアリマスガ、此二點ヲ御尋致シマス

(答辯ノ要ナシ)ト呼フ者アリ)

○鳩山和夫君 答ヘル必要モナイヤウデスガ、チヨットマア答ヘテ置キマセウ、(荒川五郎君「大ニ必要アリ」ト呼フ)根本正君カラ出テ居リマス法律案ガ政友會ノ黨議デアルヤ否ヤト云フコトハ、是ハ政友會ノ内部ノコトデアリマス、荒川君ハ御承知ニナリタケレバ教ヘテ上ゲテモ宜シウゴザイマス、黨議デアナイノデアリマス、ソレカラ根本的ニ改革ト云フノハ法律案ニスルカ、或ハ勅令デアルカ、根本的ト云フノハ讀ンデ字ノ如ク大ナル改革デアラウト云フノデ、法律案デアルトカ、勅令デアルトカ、ソシナ枝葉ナ細カナ問題ハドウデモ宜イノデアリマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○伊藤大八君 本案ハ國家重要ヲ建議案デアルト思ヒマスカラ、直ニ滿場一致ヲ以

テ可決センコトヲ希望致シマス

(「贊成々々」ト呼フ者アリ)

○荒川五郎君 緊急動議ガアリマス

○議長(長谷場純孝君) 何ノ緊急動議デス

○荒川五郎君 唯今ノ建議案ヲ採決セラレル以上ハ曩ニ出タルコロノ帝國學制案ナルモノヲ共ニ否決セラレルガ相當ト思ヒマス、此際併セテ議決セラレンコトヲ緊急動議トシテ提出致シマス

(「マダ委員會ノ報告ガナイ」ト呼フ者アリ)(荒川五郎君「ソレデカラ緊急動議」ト呼フ)「議院法ヲ讀メ」ト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 採決ヲ致シマス、荒川君ノ動議ニハ賛成ガアリマセヌカラ採決致シマセヌ、伊藤大八君ノ即チ本建議案ハ直ニ可決スト云フコトニ御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 御異議ナシト認メマスカラ滿場一致ヲ以テ可決致シマス

○大岡育造君 議長

○議長(長谷場純孝君) 大岡育造君、何カ緊急動議デスカ

○大岡育造君 緊急動議デス、此際日程ヲ變更シテ、關稅法ノ改正案ニ關スル兩院協議會ノ結果ヲ報告シ、且討論セラレンコトヲ希望スルノデアリマス

(「贊成々々」ト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 御異議ナシト認メマスカラ協議會ノ結果ヲ報告シ、併セテ議題ト爲スコトニ致シマス、兩院協議會議長大岡育造君

關稅定率法改正法律案(兩院協議會成案)

(大岡育造君登壇)

○大岡育造君 兩院協議會ハ本日午後一時半ヨリ協議委員會室ニ於テ開會ヲ致シマシタ、先ヅ第一ニ抽籤ヲ以テ兩院ノ議長ノ何レカラ極メマシタ、幸ニ議長ハ貴族院ヨリ出テラレマシタ、即チ黒田侯ガ此整理ノ任ニ當ラレマシタ、而シテ衆議院ノ側ヨリ貴族院ノ修正セラレタ所以ヲ聽キ、又衆議院ノ側ヨリ、衆議院ガ之ヲ修正致シマシタル理由ヲ述ベテ、雙方ノ法律案ニ對スル意見ヲ交換シタル後、貴族院ノ側カラ是ガタメニ特別ノ委員ヲ各院ヨリ各別三人ツ、選ンデ其審議ヲ待ッテ後ニ評議シタイト云フ議ガ出マシタ、此事ガ滿場一致ヲ可決シマシタ上ニ、三人ツ、ノ委員ヲ出シマシタ、即チ衆議院ノ側ヨリハ野田卯太郎君、元田肇君、長島繁太郎君、貴族院ノ側ヨリハ子爵曾我祐準君、子爵三島彌太郎君、男爵田健治郎君、此六君ガ會同協議致シマシタ、而シテ更ニ兩院協議會ヲ致シマシテ、滿場一致ヲ以テ可決致シマシタ、成案ヲ御報告致シマス、(「謹聽」ト呼フ者アリ)實ハ此案ハ申スマデモナク重大ナル案件デ此案ノ成立ハ日

本ノ稅權獨立が懸て居ルコロノ大切ナル問題アリマスル故ニ、吾々モ非常ナル注意ヲ拂ヒマシテ、一方即チ貴族院ノ意モ酌ミ又政府ニモ多少ノ思遣リヲ致シマシテ、申サハ餘リニ我ヲ通サズシテ和衷協同ノ實ヲ擧ゲテ、大局ニ幾ラカノ貢獻ヲ致シタイト云フ意味ヲ作リマシタノデゴザイマス、其結果ハ先ツ別表ヨリ申シマスガ御承知ノ通り、米ト藍トツレカラ揮發製ノ例ノ香水ノ原料トナルモノ「クローム」酸加里——燐寸ニ使フ藥、此四ツニ貴族院ガ修正ヲ加ヘテ回シタノデアリマスガ、成案ハ米ト藍トニ於テ衆議院ノ修正ノ通りニ復活ヲ致シタノデゴザイマス（拍手起ル）而シテ香水ノ原料ト燐寸ノ原料ニ使フト申ス——香水デハナイ、石鹼ノ原料ト燐寸ノ原料ニ使フモノハ貴族院ノ修正ニ同意ヲ致シマシタ次第デゴザイマス（拍手起ル）尤モ米ノ方ニ付テ今一ツ申スベキハ、此箇條ノ上ニ凶作ノ場合ニ於ケル勅令ノ意味ヲ少シク改メテ欲シト云フコトデアリマスカラ、此點ニ於テモ吾々ハ多數ヲ持テ居リマスカラ、強ク云ヘバ通ル筈デアリマスケレドモ、茲ガ貴族院ニ對シテモ吾々ガ意ヲ致シマシタコロデ、即チ凶作ノ場合ニ勅令ヲ以テスルコトヲ、期間ヲ指定シテ「每百斤ハ十四錢ヲ限度トシテ低減スルコトヲ得」トアリマスノヲ、「每百斤四十錢ヲ限度トシテ之ヲ低減スルコトヲ得」ト云フコトニ讓ッダ譯デアリマス、其餘ハ修正シテ回ッタモノハ殘ラズ復活ヲ致シマシタカラ、此段御報告ヲ致シマス（拍手起ル）

○森田勇次郎君 唯今ノ大岡委員長ノ報告ニハ全然同意ヲ表シマスル、斯ル重大ノ議案ニ兩院ガ和衷協同セラレテ滿場一致ヲ以テ決シマシタル事柄ハ、至極喜バシク存シマス、殊ニ我黨ニ取リマシテハ吾々ノ主張シタル一部分ガ容レラレタルコトニ於テ、尙更喜バシク存シマスルカラ委員長ノ報告ニ同意ヲ致シマス（拍手起ル）

○大岡育造君 先刻申シタ中ノ米ト申シタノハ、穀物ト云フ意味デアリマスカラ訂正シテ置キマス

○議長（長谷場純孝君） 先刻兩院協議會議長ヨリ報告ニナッタ米ト云ツタノハ、穀物ノコトデアッタト云フ正誤デアリマスカラ、左様御承知ヲ願ヒマス——採決ヲ致シマス、今兩院協議會議長大岡君ヨリノ御報告ニ御異議アリマセヌカ

（「異議ナシ異議ナシ」ノ聲起ル）

○議長（長谷場純孝君） 御異議ガナイト認メマスカラ、協議會議長大岡君ノ報告ノ通りニ決定致シマス（拍手起ル）日程第十二、上越鐵道敷設ニ關スル建議案、提出者根岸岨太郎君外三名提出、根岸君

第十二 上越鐵道敷設ニ關スル建議案（根岸岨太郎君外三名提出）

上越鐵道敷設ニ關スル建議案

我カ國本州ノ中部ヲ橫斷シテ東京、北越聯絡ノ捷路ヲ敷設スルハ軍事上經濟上一日モ緩スヘカラサル現今ノ急務ナリ殊ニ西比利亞鐵道複線工事ノ竣工ニ伴ヒ日本海ニ瀕スル北越ノ地ハ運輸、交通、國防等ノ上ニ付テ至大ナル注目ヲ要スルヤ明カナリ此時ニ方リ政府ハ宜シク速ニ上越鐵道敷設ノ計畫ヲ立テ一朝有事ノ日ニ於テハ

（根岸岨太郎君登壇）

○根岸岨太郎君 滿場諸君、私ハ上越鐵道敷設ニ關スル建議案ノ理由ヲ簡單ニ申述ベマセウト思ヒマス、今日ノ狀勢カラ考ヘマシテ、我國ノ本州ノ中部ヲ橫斷シテ北越ト東京トノ聯絡ヲ敏捷ナラシムルコトヲ圖ルト云フコトハ、實ニ經濟上軍事上一日モ忽諸ニ附スベカラザル問題デアラウト思フデアリマス、今日ハ唯確氷峙ノ不便ナル「アプト」式ニ依ッテ是ガ聯絡ヲ取テ居リマスルケレドモ、御承知ノ通り彼ノ「アプト」式ハ牽引力ガ不定デアッテ、荷物ハ常ニ停滯シ、旅客ハ其前後ニ於テ待タセラル、ト云フヤウナ不便ガアルノデゴザイマス、此ノ如ク平時ニ於テスラ大ナル不便ヲ感ズルノデアリマスカラシテ、鐵道院ニ於キマシテモ此「アプト」式ヲ廢シテ電車組織ニ直スト云フ計畫モ立ッデアルト云フコトデアリマスケレドモ、是トモ一時ノ應急策ニ過ギヌノデ、永遠ニ之ニ依賴シテ安心シテ居ルコトガ出來ナイト云フコトハ斷言シテ憚ラヌノデゴザイマス、一朝有事ノ日ニ於テハ實ニ憂慮ニ堪エナイコトデアラウト思ヒマス、ソレノミナラズ此線ハ御承知ノ通り海岸ニ沿ウテ居ル處ガ多ク又迂回甚キ鐵道デゴザイマスカラ、軍事上カラ見マシタナラバ實ニ甚ダ宜シクナイ線路デアルト云フコトハ今更本員ガ喋々ヲ要セズシテ明カナル所デゴザイマス、故ニ之ヲ改良シテ今日ニ於テ北越ト東京トノ聯絡ヲ敏捷ナラシムルコトハ、實ニ今日ノ急務デアラウト思ヒマス、殊ニ御承知ノ通り彼ノ露西亞ニ於テ西伯利亞ニ複線ノ鐵道ヲ引キ、又軍隊ハ大ニ増加シ、移民モ盛ンニナシツ、アルト云フコトデアリマスカラシテ、日本海ニ瀕スル處ノ北越ノ地ハ軍事上、運輸交通上、商業上大ニ注目ヲ要スベキ處デアルト云フコトハ、識者ヲ待タズシテ明カナルコトデアラウト思フデアリマス、故ニ政府ハ宜シク速ニ此距離ニ於テハ數十哩ヲ短縮シ、又沿道ニ於テハ鑛山ニ木材ニ大ニ務ムルトコロノ上越鐵道ヲ敷設シテ、一朝有事ノ日ニ於テハ軍事上ノ行動ヲ敏捷ナラシメ、平時ニ於テハ運輸交通上、商業ノ偉大ナル便益ヲ與ヘテ、帝國國運ノ發展ニ資セラレンコトヲ希望シテ已マヌノデゴザイマス、ドウカ滿場諸君幸ニ御贊成アラムコトヲ希望致シマス

○伊藤大八君 本案ハ曩ニ選定セラレタル鐵道ノ委員ニ付託センコトヲ希望致シマス

○議長（長谷場純孝君） 本案ハ先キニ選定セラレタル鐵道ノ委員ニ付託スルト云フコトニ御異議アリマセヌカ

（「異議ナシ」ト呼フ者アリ）

○議長（長谷場純孝君） 御異議ガナイト認メマスカラ其通り決シマス、日程第十三、史談會國庫補助ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、委員長尾崎行雄君——理事小久保喜七君

第十三 史談會國庫補助ニ關スル建議案(尾崎行) (委員長報告)

○小久保喜七君登壇

○小久保喜七君 此問題ハ非常ナ重大ナ問題ト考ヘマシタノデ、丁度委員會ハ四回開キマシタ、初メテノ委員會ハ委員長理事ヲ選ミマシタ、二度目ハ十五日ニ開キマシタ、政府委員ノ答辯ガ其要領ヲ得ナイノデ、翌十六日ノ午前十時ヲ期シテ大臣ノ出席ヲ約束シテ二十時ニ集リマシタ、所ガ、十時ニナリテ突然差支ノ意ヲ致サレタノデアリマス、委員會ハ非常ニ激昂ヲ致シマシテ、中ニハ大臣怠慢ノ決議ヲシヤウヂヤナイカト云フ御考ノ人モアッタガ、先ヅ今日待タウト云フノデ、更ニ十七日ノ午前十時開キマシタ、今度ハ來ルモ來ル大臣次官政府委員ノ三名ガ揃テ御出席ニ相成リマシタノデゴイマス、所テ段々質問ヲ致シマシタガ、ドウモ唯今ノトコロハ賛成ト云フコトガ明言ガ出來ナイト云フデアリマスガ、質問ヲ致シテ答辯ヲ得レバ得ルホド史談會ヲシテ、此史料調査蒐集ヲセシムルノガ必要デアルト云フコトガ、政府ノ答辯ヲ得レバ得ルカ明カニナッテ參タノデゴイマス、其應答ノ模様ハ委員會ノ速記録ヲ諸君ノ御覽ヲ願ヒマス、因テ委員會ハ今日ノ急務デアール一日モ忽セニスキモナハナイト云フコトガ、滿場一致ヲ以テ可決ヲ致シマシタ、此段御報告ヲ致シマス

(賛成々々「ト呼フ者アリ」)

○伊藤大八君 本案ハ委員長報告通り決定センコトヲ望ミマス

○議長(長谷場純孝君) 本案ハ委員長報告通り可決ニ御異議アリマセヌカ

(異議ナシ「ト呼フ者アリ」)

○議長(長谷場純孝君) 委員長ノ報告通り決シマス——日程第十四第十五ハ同一委員ニ付託セラレタル議案ナルガ故ニ、併セテ委員長ヨリ報告ヲ致サセマス、委員長伊藤大八君

第十四 北韓鐵道改築及航海開始ニ關スル建議案(委員長報告)

第十五 鐵道建設ニ關スル建議案(衆第七〇號) (委員長報告)

○伊藤大八君 本席ニ於テ報告致シマス、本案ハ清津ヨリ會寧、吉林、長春ニ至ルト云フ鐵道ト、敦賀若ハ舞鶴ヨリ元山、清津ヲ經テ歸ルト云フ三角航路ヲ開キタイト云フ案デゴイマス、是ハ委員會ニ於テ必要ナリシテ滿場一致ヲ以テ決シマシタ、此段御報告ヲ致シマス、(賛成「ト呼フ者アリ」)マデモウ一ツアリマス、十五ノ方ハ是ハ青森縣下野邊地ヨリ分岐シテ大湊ニ到ル鐵道デアリマス、此理由ハ數回本院ニ出マシタカラ報告致シマセヌ、是亦緊要ナル線路トシテ之ヲ可決致シマシテゴイマスカラ、此段御報告ニ及ビマス

○橋本久太郎君 日程第十四、第十五ハ共ニ直ニ二讀會ヲ開イテ委員長報告ノ通リ決セラレンコトヲ望ミマス

○議長(長谷場純孝君) 建議案デアリマスカラ、即チ日程第十四、第十五ハ共ニ委員長長ノ報告通り御異議アリマセヌカ

(異議ナシ「ト呼フ者アリ」)

○議長(長谷場純孝君) 御異議ハナイト認メマスカラ、委員長報告通り決シマス——日程第十六滿洲銀行設立ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス——委員長元田肇君

(異議ナシ「ト呼フ者アリ」)

第十六 滿洲銀行設立ニ關スル建議案(元田肇君) (委員長報告)

○元田肇君 滿洲銀行デゴイマス(賛成シマスカラ簡單ニ願ヒマス「ト呼フ者アリ」)

滿洲銀行設立ニ關スル建議案ノ委員會ノ經過ヲ御報告致シマス、唯今簡單ニト云フコトデアリマスルガ、委員長ハ如何ニモ簡單ニ經過ヲ述ベマスルガ、ドウカ諸君ハ滿腔ノ熱誠ヲ注イテ此問題ニドウカ御賛成アラント切望致シマス、(報告ヲ聽カヌ前ニ賛成シテ居リマス「ト呼フ者アリ」)委員會ハ滿場一致ヲ以テ可決致シマシタ、(モウ澤山ツレデ宜シ「ト呼フ者アリ」)是デ宜シヤウデアリマスルケレドモ、ソレデハ委員長トシテ甚ダ本問題ヲ輕シマスルヤウニ考ヘマスカラ、今少シ御許ヲ願イタイ「謹聽」ト呼フ者アリ「委員會ニ於キマシテ政府委員茲ニ總理大臣ノ出席ヲ求メマシタ、所テ政府ノ意見ヲ導ネマシタコトログ、政府ニ於キマシテハ曩ニ當議會ヨリ建議モアッタコトデアリマスカラシテ、官吏ヲ派出致シマシテ全ク金融機關ノ必要——向フノ金融ハ如何ニナッテ居ルカト云フコトヲ調査致シマシタコトログ商業資金ニ付キマシテハ一昨年ノ統計ニ依リマスルト、六千百万圓程ノ運轉資金ガ必要デアッタト云フコトデアリマス、ソレカラ第二ハ工業ノ資本金ト云フモノヲ幾分カ要スル、第三ハ不動産ノ資本ニ對シマシテ金融ノ途ヲ開カナケレバナラヌト云フ、此三點ニ付キマシテ政府ハ取調ヲ致シタノデアル、然ルニ第一ノ商業資本ハ正金銀行ガ大抵扱ッテ居ルノデアリマス、工業ノ資本ニ付キマシテハ未ダ十分ナル工業ノ發展ガゴザイマセヌカラシテ、格別ノ必要ト云フコトハ——緊急ナモノハナイト云フコトデアリマス、將來起ルベキモノ等マデモ考ヘテハ居ルケレドモ、未ダ特別ノ金融機關ヲ設ケルト云フ程マデノ必要ヲ認メテ居ラス、第三ノ不動産——不動産ニ付キマシテハ全體ニ付テ五十六百万圓ダケノ不動産ハアリマスルガ、其内ノ三百萬圓ダケハ個人ノ所有ニ係ルモノデアリマシテ、差當リ金融ノ途ヲ開カナケレバナラヌト云フ必要ヲ感ズルモノハ此三百萬圓ノ個人ノ家屋、不動産等ニ關係シタ點デアリマス、然ルニ滿洲ノ今日ノ有様デハ獨立ノ銀行ヲ起スコトハ政府ハマダ時機ニ適シテ居ルヤ否ヤト云フコトニ付テ考中デアルガ、此三百萬圓ダケノ個人ノ不動産ニ對スル金融ノ途ヲ開クト云フコトハ、ドウシテモシナケレバナラヌト云フコトヲ信ズルガ故ニ、正金銀行ヲシテ特ニ此方面ニ向ッテ金融ノ途ヲ開カシメルト云フコトヲ考慮中デアルト云フコトデアリマシタ、更ニ進ンデ其考慮ハ何時ニ實行セラレルト云フコトヲ追窮致シテ聞キマシタコトログ、議會閉會後ニハ間モナク著手スルト云フコトデアリマス、是ニ於テ吾々委員ハ討論攻究ヲ致シマシタガ、正金銀行ガ金融ヲシテ吳レルト云フコトデアリマシテモ、名ハ金融ヲスルト云フコトデアリマスルケレドモ、銀行ノ性質ガ違フノデアリマシテ、今日マデノ

史談會國庫補助ニ關スル建議案 北韓鐵道改築及航海開始ニ關スル建議案 鐵道建設ニ關スル建議案 滿洲銀行設立ニ關スル建議案

狀況ニ依リマスルト云フト三百萬圓政府ノ命ニ依テ金融ブルスト云フコトハ、名ハ其通
リニナツテ居リマシテモ實際ニ滿洲ニアルコロノ個人ノ不動産ニ對シテ金融ノ途ヲ開イ
テ與レト云フコトハ、甚ダ疑ハシイノデアアル、否ナ、疑ハシイノデハナイ恐クハ實行シナ
イデアヲウト思フ觀念ガ委員中ニ於テ非常ニ澤山アツタノデアリマス、斯様ナ次第デ
アリマスカラシテ委員會ニ於キマシテハ、政府ハ後日ニ至ラデハ或ハ設ケルカモ知レナイガ、
三十六年以來ノ正金銀行ニ種々取扱ハシタコトモアリマスカラシテ、今俄ニ之ヲ止メ
ルト云フコトモ難儀デアアル、斯様ナ行掛リモアリ、旁デ三百萬圓ガハ正金銀行デ以
テ金融ノ途ヲ開カレラカ、先ツ當分ハ是デ宜シイ、未來永劫ノコトハ分ラヌト云フ例ノ
桂總理大臣ノ言分デアリマスルガ、吾々委員ハ何處マデモ今日ニ於テ殖民地ニ相當シ
タルコロノ、即チ正金銀行ト性質ノ變リマシタ滿洲方面ニ適切ナルコロノ銀行ヲ設
立スルト云フコトハ、何處マデモ必要デアルト云フコトヲ考ヘマシテ、其通りニ決定シマ
シタ次第デアリマス、皆サンガ之ニ御賛成ニナルコトハ信ジテ疑ハヌノデアリマスルガ、本問題
ハ曩ニ當院ニ於テ建議ヲ致シ、今又此建議ヲ爲スノデアリマスルガ、尙一層諸君ハ滿腔
ノ熱血ヲ瀝イデ御賛成ヲ事實ノ上ニ現ハス様ニナリマシテ、此銀行ガ速ニ桂大藏大臣ニ
於テ建設スルト云フコト、ナリマスルヤウ、御盡力アラント切ニ望ムノデアリマス

○議長(長谷場純孝君) 堀江覺治君

○伊藤大八君 本案ハモウ簡單明瞭デ分ッテ居リマスカラ……

○議長(長谷場純孝君) 通告ガアリマスカラ……

○堀江覺治君 申スマデモナク此案ハ唯今委員長ヨリ報告ノアリマシタ通り、滿洲ヘ
適當スル、即チ新開地ナル滿洲、准領土タル滿洲ニ適應スルトコロノ銀行ヲ設ケタイ
云フ趣意デアアル、誠ニ機宜ニ適當タ建議案ト信ジマス、又委員會ガ全會一致ヲ以テ之
ヲ可決シマシタコトモ實ニ適當ノ措置ト考ヘマス、實ハ私モ委員ノ一人ト致シマシテ末席
ヲ汚シテ居リマシタガ、唯今委員長ノ報告ガアリマシタ通り、桂大藏大臣、及政府委員
ハ是ハ特ニ今日滿洲ニ於テ特殊ノ銀行ヲ設ケル 必要ヲ認メヌ、在來戰爭以來、正金
銀行ニヤラセテ居ッテ緣故ニ依ッテ、ヤハリ正金銀行ヲ擴張シテツレヤラセル、斯ウ云フ
御意見デアリマシタガ、私共ハ唯今申シマス通り滿洲ニ相應ハシイ、殖民地タル滿洲、准
領土タル滿洲ニ相應ハシイ銀行ガ欲シイト云フノデアリマス(「委員長既ニ意味ヲ盡セ
リ」ヨセ)「蛇足デ」ト呼フ者アリ)是トハ全ク反對デスカラ(「贊成ガ減ル」御土産
演說ハヨセ)ト呼フ者アリ)此場合ニ諸君ニ望ミマス、諸君ト共ニ政府ニ向ッテ、大ニ政
府ニ反省ヲ求メタイト云フ考ヘデアアル、一體滿洲ノヤウナ殖民地ニ(「釋迦ニ說法」
「案ガ益、惡ルナラズ」ト呼フ者アリ)爲替銀行タル正金銀行ヲシテ(「モウ宜イ」ト
呼フ者アリ)殖民地銀行ヲサセヤウト云フノハ、早イトコロガ鵲シテ驚ノ真似ヲサセルト
云フヤウナモノデ、巧妙ナ手ニ依ッテ二月、三月ハ泳ガセマセウケレドモ、少シ經ツト本能
ニ復シテシマフ、正金モ政府ガ監督シテアル中ハ、ソレハ成程好ク營業シマセウガ、監督ノ
手ガ緩メバ直グ爲替銀行ノ本能ニ復シテシマフ、曾テ滿洲銀行ハ滿鐵ガヤルトカヤリタイ
トカ云フ話ガアリマシタ、併シモヤハリ同様デ、再ビ(「ヤルナラ登壇シテヤリ給ヘ」ト呼
フ者アリ)界近ノ例ヲ求メテ申シマスルト、鵲ガ驚ノ卵ヲ解スヤウナモノデ、ヤハリ遂ニハ殖

民ニハ繼子扱トナル、此場合ドモモ滿洲ト云フ地方ヲ標準トシテ滿洲ニ始終シ、永久ス
ルトコロノ(「反對スルヲ」ト呼フ者アリ)我同胞ヲ本位トシタ相應ハシナイ銀行ヲ設ケネ
バナルマイト思フ、政府者モ滿洲ニ金融機關ノ必要ヲ認メテ居リマスヤウデスカレドモ、聊
カ彼ハ不安ノ點ガアルノデセウ、成程内地ニ於ケル銀行設立ヲ標準トシテ考ヘル場合ニハ
抵當ガナイ、事業ガナイ、併シ殖民地ニ於ケル銀行ヲドハ、銀行ヲ拵ヘテヤルカラ仕事
ヲセイト云フヤウニ反對ニセネバナラヌ(「分ッタク」「無用ヤ」ト呼フ者アリ)イヤ、私
ハ無論贊成ノ演說ヲスルノデス(「反對論ガナイヨ」ト呼フ者アリ)併ナガラ之ハ大問題
デ(「反對ガナイカラヨセ」ヤルナラ登壇セヨ」ト呼フ者アリ)滿洲ノ現狀ハドウデアリマ
ス(「其演說ドウデアリマス」ト呼フ者アリ)笑聲起ル)政府ニ於キマシテモ、滿洲政策ニ
付キマシテハ、大ニ力ヲ盡サル、様子デアリマシテ、昨年ノ如キハ外務大臣モ立派ニ御
明言ニナツテ居ル、併シ向アヘ行ケ、向フヘ行ケト口バカリテ、其術ヲ授ケテ下サラヌト
云フコトハ誠ニ遺憾ニ堪エヌ、前年我ト干戈ヲ交ヘテ居ッテ露西亞ノ如キ、西比利亞ニ
向ッテ昨年三十萬ノ移民ヲ送ッテ居ル、或ハ百「ルーブル」或ハ二百「ルーブル」乃至三
百「ルーブル」マデ補助ヲ與ヘテ、無賃輸送ヲシテ吳レルト云フヤウナコトア、非常ニ盛大
ヲ極メテ居ル、獨逸ハドウデアアル、膠州灣ニセツテ經營ヲ力メテ居ル(笑聲起ル)演壇ヘ
行ッテヤレ」ト呼フ者アリ)唯私ハデス、多ク云ヒマセヌ(笑聲起ル)大藏大臣ハ戰爭以
來正金ニ滿洲ノ金融ヲヤラセテ來タ緣故ガアルカラ、今回モツレヲ擴張シテヤル、斯ウ云
フノデス、サウスルトツレガ政府ト正金トノ因緣デアラウト私ハ思フ、今度ハ緣故ガアルカ
ラ正金ヲ止メルコトガ出來ヌトナレバ、未來永劫ヤハリ正金ヲ止メルコトハ出來ナイ、今
日ハ正金銀行ヲシテ滿洲ニ於ケル銀行ノコトヲヤラセバ非常ニ喜ブノデゴザイマセウケレ
ドモ、併シ彼等ノ本能ニアラザル殖民地ノ銀行ノヤウナ營業ヲ背負込デハ、確ニ夢ガ
覺メテ迷惑スルトキガ來ル、私ハ斯ウ云フ大藏大臣ノ御意見ノ如キハ、所謂照々ノ
仁、了々ノ義デ、遂ニ將來ノ大方針ヲ誤ルデアラウト思フ、私ハ此際政府ニ向ッテ大反
省ヲ求メテ、心機一轉、此正金銀行ヲ止メテ、滿洲ニ特殊ノ銀行ヲ設立スルトコトニ付
キマシテ、諸君ト共ニ政府ニ迫ラント欲スル者デアアル

○議長(長谷場純孝君) 委員長ノ報告ニ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 御異議ガナイト認メマスカラ、滿場一致ヲ以テ委員長報告
通り決定致シマス、日程第十七ハ提出者ヨリ撤回ノ請求ガアリマス

○柵瀬軍之佐君 撤回ノ理由ヲ一言致シマス、本案ハ臺灣銀行法中改正法律案ノ
委員ニ附託サレタノデアリマシテ、其經過及結果ニ付テハ先刻委員長ヨリ報告セラレタ通
リデアリマス、即チ政府ハ今回臺灣銀行ノ保證準備ヲ擴張スルト同時ニ、同銀行ノ資
本ヲ増加シテ、勸業銀行ヲシテ代理行爲ノ下ニ、臺灣ノ不動産ニ對シテ長期貸附ヲナ
サシムル、即チ農工業者ノ金融機關タルコトヲ努メヤウト云フコトヲ言明致サレマシタ、
其結果トシテ、本案ヲ提出致シマシタルコロノ建議案ノ趣意、目的ヲ達スルニ至リマ
シタカラ、茲ニハ本案ヲ撤回致シマシテ、姑ク政府言明ノ主義竝ニ臺灣銀行ノ態度ニ
付テ今後見定メラ致シタイト云フ考デアリマス、尙本案提出ニ付キマシテ贊成署名ヲ爲

○議長(長谷場純孝君) 撤回ニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(長谷場純孝君) 御異議ナシト認メマスカラ撤回ヲ許シマス、日程第十八、續煙毒除害命令並被害救済ニ關スル建議案ヲ議題ニ供シマス、委員長武藤金吉君

第十八 續煙毒除害命令並被害救済ニ關スル建議案(委員長報告)

議案(武藤金吉君外十一名提出)

○武藤金吉君 當席カラ報告ヲ御許ヲ願ヒマス、委員會ハ三回八時間ニ涉ッテ鄭重ニ審査ヲ致シマシタ、政府ハ此建議案ニ對シテ昨年カラ引續イテ、又本年度ニ於テモ行ヒマスル調査會ニ於テ、十分ナル調査ヲ遂ゲタ上ニ、此除害方法ノ上ニ於テ其方法アリトスレバ是ガ命令ヲ發スルコトニ躊躇シナイ、併シ明年ナルカ明後年ナルカト云フコトハ明言出來ナイ、ツレカラ此買收ノ方法ニ付テハ、政府ハ努メテ鑛山業者ト被害民トノ妥協ヲサセルト云フコトデアリマス、此委員會ハ是等ノ政府ノ言明ニ甘ンゼズ、十分ニ審査ヲ遂ゲマシテ、此要領ハ詳シク速記録ニ載セデアリマス、因テ委員會ハ此案ヲ原案ノ儘滿場一致可決ヲ致シマシタ、尙附加ヘテ報告致シテ置キタイノハ、三回八時間ニ涉ッテ開イタニ拘ラズ、委員中ニ四名ノ無届缺席委員ガアリマス、是等ハ殊ニ私ガ委員長トシテ此議會ノ附託ニ背イタ報告ヲ致スコロデアリマス

○議長(長谷場純孝君) 今ノ報告ニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(長谷場純孝君) 御異議ナシト認メマスカラ、委員長報告通り可決致シマス、日程第十九、水産講習所分場設置ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、委員長吉田虎之助君

第十九 水産講習所分場設置ニ關スル建議案(吉田虎之助君外一名提出)

〔簡單ト呼フ者アリ〕

○吉田虎之助君 簡單デゴザイマスカラ當席カラ報告ヲ致シマス、本案ハ委員會ヲ開キマスルコト三回、反覆鄭重ニ政府委員ニ質問ヲ致シ、慎重ニ審議ヲ致シマシタトコロガ、政府委員ガ申シテ居リマスルニハ、政府モ本案ニハ無論同意デアル、既ニ本年ハ五万幾千圓ノ豫算ヲ本案ノ趣意ニ依ッテ發案シタケレドモ、財政ノ都合上止メタト云フコトヲ云ウテ居ルノデアリマス、ツレデ委員會ハ本案ハ決シテ財政ノ都合上ナド延バスベキモノデナイ、其收入上カラ云ツテモ、其事業ノ必要上カラ云ツテモ、是ハ耕地整理ト共ニ設置スベキ程ノモノデアル、故ニ委員會ハ本案ヨリ非常ノ積極的方針ヲ以テ政府ニ設置サレシコトヲ望ムト云フ條件附ヲ以テ可決致シマシタ

○議長(長谷場純孝君) 今ノ報告ニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(長谷場純孝君) 御異議ナシト認メマスカラ、滿場一致ヲ以テ可決致シマス
〔書記朗讀〕

〔書記朗讀〕

一議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

高層氣象觀測所設置ニ關スル建議案

提出者 渡邊 千冬君

一委員長及理事左ノ通り當選セラレタリ

皇族ヨリ臣籍ニ入リタル者及婚嫁ニ因リ臣籍ヨリ出テ皇族ト爲リタル者ノ戸籍ニ關スル法律案委員會

委員長 岡田 泰藏君

理事 卜部 喜太郎君

漁港開築ニ關スル建議案委員會

委員長 武滿 義雄君

理事 平島 松尾君

○議長(長谷場純孝君) 次回ノ議事日程ハ公報ヲ以テ御通知致シマス、本日ハ是デ散會

午後五時二十五分散會